

# 八木書店

## 中古文学会

### 2024年春 会員限定 割引販売カタログ

【特集】新シリーズ近刊

【申込期限】2024年7月末日 【販売価格】全品1割引・送料サービス

【お支払い方法】郵便振替用紙、銀行振込

【ご注文方法】 Fax : 03-3291-6300 (最終頁の注文書をご利用ください)

Tel : 03-3291-2961 / E-mail : pub@books-yagi.co.jp

画像クリック(タップ)で  
WEBサイトへリンク!

**速報** 3期リシリーズ決定! JKBooks

専門研究やフランスに最適な  
一大史料集データベース

Web版 史料集

第3期 古記録編 室町・戦国④~⑦  
2025年1月 配信予定

古記録・古文書などの重要史料を文字起こし(OCR)し、  
学術最高水準のテキストを提供する「史料集」。  
日本研究に必須の一大データベースが待望のデータベース化!

収録書目

室町・戦国④  
三朝院御抄1-2、北野社日記1-8、  
親政御記1-3、高野常備記、  
政見大指正記1-2

室町・戦国⑤  
鹿苑日録1-7、守光公記1-2、  
菅原御記1-6、長安寺永徳日記

室町・戦国⑥  
美見御記1-7、三朝院記、  
親政御記1-4、中野常備記1-3

室町・戦国⑦  
貞徳日記1-6、寛長日録1-2、  
源教経御代御記1-4、  
鹿苑院公文書

▼ Web版 史料集 無料トライアル(1期・2期)のお申し込み ▼  
<https://catalogue.books-yagi.co.jp/files/pub/pdf/Yaajimuryotrial.pdf>  
上記URLより申込書をダウンロードしてお申し込みください。  
※3期の特典は2025年1月以降に発行予定です。

**速報** 2024年12月発行開始!

中世の人々の営みを細部にいたるまで活写!  
至宝の繪巻をオールカラーで刊行!

尊経閣善本影印集成 第十一刊  
全4冊 室町・戦国・安土・徳川

荇柄天神縁起  
一遍聖絵  
豊明繪草紙・祭礼草紙

高規格カラー一冊

八木書店

萬葉集正義  
全10冊

漢籍を中心に比較文学の知見を盛り込んだ  
『万葉集』注釈の決定版!

國學院大學 萬葉集正義編集委員会編  
國學院大學創立140周年記念  
2024年8月刊行開始  
定期 分売予約受付中

八木書店

※ 1割引の特別価格は上記の連絡先へご注文いただいた場合のみ適用  
(八木書店古書部店頭、ネット販売、その他書店様等へのご注文の場合は1割引となりません)

【八木書店 出版物・古書目録】 <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

# 『万葉集』とは何か

# 『万葉集』注釈の目的

現存する『万葉集』は、二十巻、四千五百余首を取める。その原核は原万葉と呼ばれる巻一・巻二の歌群に始まり、そこに個人歌集や個人歌集の歌々を加えられ、やがて大伴家持の手によって全体がまとめられた。

原型である巻一・巻二では、雑歌・相聞歌・挽歌の三つに歌が分類される。雑歌は祭祀・儀礼歌、相聞歌は恋歌、挽歌は死者哀悼の歌である。この三つに分類する意識の根底には、人間が根源的に希求する祈りが見えてくる。生きることに生き抜くことのために神に祈り、人としてあることのために愛する人や家族との人間関係を求め、死と滅亡を恐れるために生の永続を希求することである。歌は、そういった人々の祈りの感情によって生まれるものであり、そうした祈りの歌によって『万葉集』は作り上げられていった。

また、古く日本列島に歌われていた歌は、いわゆる〈和歌〉ではなかった。それらは無文字社会において長く伝えられていた〈ウタ〉であった。しかし、『万葉集』の時代に、倭のウタが漢詩（カラのウタ）と向き合うことで〈倭歌〉または〈和歌〉への意識が成立していく。この時代は、歌の発生から完成へと至る歴史であり、また歌う歌から書く歌へと至る歴史であり、さらに伝承歌の時代から歌人の時代へと至る歴史でもあった。『万葉集』を知ることは、日本文学史の上で極めてダイナミックな展開を示した歴史を知ることとなるのである。

いかなる古典も、歴史的な注釈によって読まれるのを基本とする。中国の古典には伝、箋・注、疏、正義などの様々な注釈のシステムが存在し、それらの注釈も時代に沿って様々に展開している。日本においても注釈の歴史は古く、日本人が古典の注釈に深く向き合いはじめたのは、律令時代の学生たちであった。学令においては漢籍は、学生たちが習すべき必修の儒教テキストであり、これらテキストを注釈書によって教授せよという規定があった。これらは儒学の主要な教科書であり、古代日本の学問は儒学に特化することで形成されたことが知られる。

## 日本古典としての『万葉集』

奈良時代には律令下の注釈理解によりテキストを分析する知識人たちが台頭し注釈学へと展開する。『万葉集』の中にあつては、山上憶良の「類聚歌林」という歌集が存在したらしく、巻一・巻二に資料として断片的に引用される。「類聚歌林」自体は亡失しているため全容は不明であるが、その歌にどのような歴史的状况が存在したかを解説しており、そこには一種の注釈的態度が認められる。さらに憶良の「沈痾自哀文」（巻五）などの漢文文章の中にも自注が付されている。

平安時代に至ると、『万葉集』訓詁が勅撰和歌集編纂を行った源順ら梨壺の学者たちにより始まる。それが『万葉集』であったのは、国風への強い関心からであった。さらに、鎌倉時代に学問は寺院において広く展開し、日本五山の登場はそれを積極的に促した。詩作に根ざした漢詩・漢文の注釈学から、やが

て日本の学僧による日本古典の注釈へと向かい、『万葉集』は注釈の対象に値する重要な古典となった。

中国古典の訓詁・注釈が儒学理解のためにあるとすれば、詩の古典である『詩経』も、この訓詁・注釈によって儒教的テキストとして読まれた。古く旧約聖書の読みも必然的に訓詁・注釈の学が方法化され、文献学に裏付けされた訓詁や注釈が何百年にもわたって積み重ねられた。ひたすら、神の真理を理解するための行為である。それは、釈迦が没して五百年後の仏典の結集も同じであった。

一方、日本における『万葉集』を国風の古典として読もうとする試みは、古典に対する理解が成熟したことを示している。しかも、『万葉集』というテキストの訓詁・注釈は、儒学のためでも、宗教的真理追究のためでもない。その意味から言えば『万葉集』が古典として訓詁・注釈の対象となったのは、漢籍に対して日本古典もその対象となることへの発見から始まった。詩作のための漢籍の訓詁・注釈は、『万葉集』にも適応し得たのである。同時に、その出発が国風への関心であったことにより、江戸期には国学という学問の形成にも『万葉集』が大きな役割を果たした。

## 『万葉集』と国学

国学は、賀茂真淵や本居宣長に代表されるように、漢籍とは異なる価値体系を持つた古典としての古学・古道の追究へと邁進する。そこに連なる多くの国学者は、歌を詠むことで古えに近づこうとし、それゆえに『万葉集』は古学としてのテキストとして読まれた。徳川光圀から『万葉集』の注釈を依頼され、漢籍・仏典を駆使して文献学的に『万葉集』を解き明かした僧契沖も、最初は国学的態度から出

発する（『万葉代匠記』初稿本）。以後、国学による多くの注釈が生まれる。

『万葉集』の注釈史は、大きく二つにまとめると、Aは平安以降に興った訓詁・注釈を主とする本文に即した文献的な読み、Bは江戸国学や明治以降の和歌や短歌への理解に興った、様々な人々に開かれた古典としての読みということになる。そうした中で契沖の『万葉代匠記』は特異である。はじめに編まれた初稿本はBに拠るが、後の精撰本では、Aの備仏に渉る文献学的手法が駆使されている。精撰本は、本文の正確な読みを試み、更には「此集ノ歌ヲ心得ムニハ、イトキナキ子ノ片言スルヲ、母ノ聞キナレテ意得ル如クスベシ」（『万葉代匠記』精撰本）とも言い、A Bどちらの流れをも汲むこととなる。

こうした『万葉集』の注釈史から次に求められるのは、『万葉集』という日本古典文学が東アジア文学史や世界文学史に参画するための注釈の準備であるように思われる。それは、契沖のようなA Bどちらをも視野に入れた注釈である。

本書は、東アジア文学史に参画するための注釈として世に問うものである。



萬葉集正義（全10冊）★定期予約・分売予約受付中！

## 2024年8月刊行開始

A5判・上製・函入・平均600頁（予定）6か月毎に配本

- 第1回配本〔2024年8月〕 定価八、八〇〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-1
- 第2回配本〔2025年2月〕 予価一〇、四五〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-2
- 第3回配本〔2025年8月〕 予価九、三五〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-3
- 第4回配本〔2026年2月〕 予価一〇、四五〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-4
- 第5回配本〔2026年8月〕 予価一〇、四五〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-5
- 第6回配本〔2027年2月〕 予価一〇、〇〇〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-6
- 第7回配本〔2027年8月〕 予価九、三五〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-7
- 第8回配本〔2028年2月〕 予価九、三五〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-8
- 第9回配本〔2028年8月〕 予価九、三五〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-9
- 第10回配本〔2029年2月〕 予価一〇、四五〇円（税込） ISBN978-4-8406-252-0
- 第10回配本〔2029年8月〕 予価九、〇〇〇円（税込） ISBN978-4-8406-251-0

- ① 各歌に詳細な語釈／成立論／内容紹介を付した『万葉集』全注釈の決定版  
本シリーズでは『万葉集』全20巻を2巻ずつ、全10冊で徹底精読する。最善本である西本願寺本に則った最良の校訂本文・読み下し文を提供し、各歌に詳細な語釈を付す。各歌には「作品の成立」「作品の特質」などとして、上代文学研究の立場から精緻な作品解説を掲載している。
- ② 漢籍の出典などを重視した比較文学研究  
語釈では漢籍の文言との関係を丁寧に考究している。これは『万葉集』を比較文学研究の立場から研究したという点で画期的。また、民俗学の立場からの解釈を試みている点も注目される。

【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	國學院大學萬葉集正義編集委員会編／八木書店刊 2024年8月刊行開始 <b>萬葉集正義 全10冊</b> ( )セット ISBN978-4-8406-2510-4 セット予価 99,000円 (本体 90,000円＋税)	取扱店 (番線印)
	お名前 (ふりがな)	TEL
	ご住所 〒	FAX
		E-MAIL

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8  
Tel:03-3291-2961/Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp https://catalogue.books-yagi.co.jp/

國學院大學 萬葉集正義編集委員会編

## 國學院大學創立140周年記念

# 萬葉集正義

全10冊

2024年8月刊行開始  
定期／分売予約受付中

漢籍を中心に比較文学の知見を盛り込んだ

『万葉集』注釈の決定版！

八木書店

# 組見本

## 《訓読文・現代語訳・校訂本文》

訓読文・校訂本文は最善本である西本願寺本に則り、初学者にもわかりやすく現代語訳を付す。

1 天皇の蒲生野に遊獵あそびしたまひし時に、額田王ぬかたのみことの作れる歌  
20 茜草あかねぐさ指す 紫野むらさきのの逝やき 標野しるしのの行き 野守のりもりは見みずや 君が袖きみがそで振る

天皇が蒲生野に遊獵された時に、額田王が作った歌  
明るい日が照るように、照り輝く紫野を散歩し、また標の張ってある野を散歩していますのに、野守が見てい  
るではありませんか。あなたが頼りに袖を振るのを。

### 【校訂本文】

天皇遊獵蒲生野時、額田王作歌  
茜草指 武良前野逝 標野行 野守者不見哉 君之袖布流

### 【注釈】

○天皇 近江朝の天智天皇。既出一三番歌。○遊獵蒲生野 時 蒲生野は滋賀県の地。和漢音釈に「蒲生江州郡名」とある。近江鉄道八日市線市辺駅北方の船岡山一帯の野。現在この歌にちなんだ記念公園がある。「遊獵」は天皇の特  
別な儀礼。ここでは五月五日の中国風の薬氣、薬草を採取して邪氣を祓う行事。「芸文類聚」(巻第四)に「荆楚記曰。荆楚人。以五月五日並躡百草。採艾以為人。懸門戸上。以禳毒氣」とある。「獨」は既出三番歌。○額田王作歌 額田王は既出七番歌。○茜草指(茜草指す) 茜色の

ように明るい日が照ることから、次の「紫」を導く修飾語(枕詞)。「茜」は康熙字典に「本草。今染絳茜草也。史記貨殖伝註。其花染絳赤黄也」とある。倭名抄(卷十四)に「西兼名苑注云西蘇見反和名阿加弥可以染緋者也」とある。伊呂波字類抄に「茜アカネ西根阿景注云今染絳茜草也」とある。アカネ科の蔓性植物。根から染料を取る。それが日の輝きのように見えることから。○武良前野逝(紫野逝き) 「武良前」は紫。紫の野を遊覽して行き来すること。紫草は夏に白い花を付け、紫根は漢方薬や紫色の材料。全国に栽培させて宮廷に貢上させていた。この行事が薬氣である

## 《注釈》

漢籍の出典などを重視し、比較文学の知見を盛り込んだ詳細な注釈を付す。

## 《作品の成立》

歌の内容を丁寧に読み解き、歌が詠まれた背景について『万葉集』の注釈史にも触れながら解説する。

ことから紫草が素材となるが、紫の色を主体とした表現である。「野」は古義に「奴」の假名であったが「能」となるのは奈良朝の季の頃と言う。○標野行(標野行き) 紫草の標野を行き来すること。「標」は康熙字典に「蒲生野天文調。高枝曰標」とある。高い枝が目印になることによる。広益玉篇に「標々」とある。「標野」は天皇が上りする御座地なので立ち入り禁止の標のある野。○野守者 不見哉(野守は見えず) 「野守」は標野の番人。野守を天智天皇あるいは自らを尊ぶ番人とする説もある。「奴」は反語。○君之袖布流(君が袖振る) 袖を振るのは相手への愛情表現。男子からの挑発に恥じう心をいう。

### 【作品の成立】

次の歌の左注によれば、天智七年(六六八)五月五日の端午の節に、天皇以下の宮廷人が蒲生野に集い、盛大な遊獵が行われたことが知られ、その時に、額田王が詠んだ歌である。端午の節は中国の端午(五月初の午の日)に発し、日本では皇極初に初見で、この折に薬氣が行われている。中国の端午の節には人々が集って野に出て薬氣を行っている。無病息災を願った。この歌は次の大海人皇子との問答の歌であることから、かつての夫である皇子との隠れた恋の歌と説かれている。大海人皇子の妻でありながらも、天

智天皇に召されて後宮に入ったというのである。それを指極的に説いたのは、伴信友などの江戸時代の研究者たちであった。額田王が天智天皇に召された後も大海人皇子が「しめびしぬびに御ことかよはしかはしなどしたまひける」(長等の山風)と言う。その結果として、兄と弟による争い(壬申の乱)が起きたのだというのであり、そこに額田王の悲劇を読み取ろうとした。そのように解釈される背景には、歌を歴史的に理解する立場が存在したからである。ここにはそうして理解を可能とする状況があり、それを秘伝として伝えようとする態度もある。しかし、それは正史ではなく外伝や外史としての理解であるように思われる。外伝とは歴史を言及しながら、正史に隠れた歴史の文脈を読んで作られた伝えであり、物語りとしての伝えである。また外史とは正史とは異なり個人が伝えた歴史である。額田王の歌に触れた読み手は、王の妙技の恋歌に心動かされたことにより、それを歴史化する態度の上から外伝や外史として伝えたのである。本来は、端午の薬氣の後の歌宴にあつて楽しまれた歌掛けの歌である。

### 【作品の特質】

この薬氣は端午に行われる薬氣であり、宮廷を挙げての異国風な行事である。多くの宮人たちが入り乱れて楽しむ

## 《作品の特質》

《注釈》《作品の成立》を踏まえ、民俗学的な観点もくわえた歌の解釈を通じて、その特質を詳細に解説する。

盛大な宮廷行事であったから宮人たちの心は高揚し、宮廷春仕の緊張の解かされる一日であった。こうした遊樂の場は春の若葉摘みの行事のように、男女が恋歌を掛け合う歌壇(主要語彙解説)の「歌壇」(参照)の場へと移るのを常とする。この歌壇は天皇や皇弟あるいは諸王らが楽しく見守り、あるいはその歌掛けに参加したことが想定されよう。そのような高揚の中から、額田王の歌が詠まれた。「茜草指す紫野逝き標野行き」とは、紫草の野を行き来しつつ遊樂している様子であり、しかもこれは標野であると言ふ。標野とは他から区別された立ち入り禁止の野であり、その野に入って歌い手が散策をえているのである。しかも立ち入り禁止である標野を通して、もう一つの意味、すなわち自らも立ち入り禁止の女子であることを示唆している。その流れの中に、「野守は見ずや君が袖振る」が続くのである。野守は標野を管理する番人であり、歌い手はその番人に見つかるとを恐れている。もちろん、それは立ち入り禁止の野に立ち入りしたことについては、あ

この歌い手が示唆している立ち入り禁止の女子とは、人妻である。それはみな女の周知の事実である。そのような女子に、あちらから男子が自分に袖を振っているのであるから、女は困惑することになる。その困惑する女を、額田王は演じているのである。もちろん、これは野の歌壇への掛け合いの歌であるから、それを聞かされた額田王は、この額田王の歌に対して誰どのように答えるのか、誰がこの立ち入り禁止の女に袖を振っているのか、そちらに大きな関心が向かうことになる。ここには立ち入り禁止の女に向かい、しきりに袖を振る男を作り上げて、その男からの答え待つという意図があり、明らかに額田王による男たちへの挑発の歌として仕掛けられたものである。歌壇には社会性を持つ男女が登場するのではなく、あくまでも「もう一人の私」によって展開する虚の世界であり、特に男女の恋歌の掛け合いは、そうした仮構の上に成り立っている。

## 発刊の辞

國學院大學理事長 佐柳正三

令和四年十一月四日、学校法人國學院大學は、本学の母体であった皇典講究所が明治十五年に創立されてから百四十周年を迎えました。このたび、國學院大學創立百四十周年記念事業の一環として『万葉集』注釈である本書『萬葉集正義』が発刊されることは、令和への改元により、『万葉集』、延いては日本文化への関心が高まるとともに大きなものとなっている現在、洵に時宜に適切な企画であり、関係者各位のたいなる喜びであらうと信じます。

この創立百四十周年記念事業としては、令和四年四月に「觀光まちづくり学部」をたまたプラーザキャンパスに新設したほか、創立百三十周年からの十年間における法人の歩みを編集した「國學院大學百四十周年記念誌」の刊行、本学博物館において記念展示「近代工芸の精華―有栖川宮家・高松宮家の名品と金子皓彦コレクション」を開催しました。また、渋谷キャンパスの神域に明治神宮から寄贈された神殿を改装装飾して造営するとともに、昭和五年五月に御鎮座した現在の神殿をたまたプラーザキャンパスに移築して改装を行う神殿造替および境内整備事業等も進めてまいります。

さらに、来る創立百五十周年に向け、これまでの中長期計画を継承した、「伝統に立つ改革そして未来」へのスローガンの下に「中期5カ年計画」を公表し、法人の目的を「法人組織を強化するとともに絶えず変化する環境に対応可能な人材を積極的に養成し、以て社会に貢献する学校法人を目指すこと」と定め、この達成に向けて「教育研究の推進」と「絆と誇りの涵養」を二つの柱として位置づけ、

計画を推進しております。かつて皇典講究所開校式において初代総裁有栖川宮職仁親王から賜り、本学の建学の精神を示している「告諭」は、「今ヨリ後職員生徒此ノ意ヲ體シヨ」という言葉で結ばれています。この「告諭」の指針を忘れず一致団結し、役教職員一体となって「オール國學院」のもとに、歴史と伝統を踏まえた新しい國學院大學を目指して、さらなる取り組みに挑んでいきたいと思っております。

國學院大學は古典を中核とする特色ある研究を進めてきた大学であり、古典を通して日本の伝統や文化を理解することを目的として様々な取り組みを行っております。そのなかには平成五年、横浜たまプラーザキャンパスにおいて、故櫻井満博士の御指導の下で教職員有志が約百五十種の「万葉集」ゆかりの植物を持ち寄り、植栽して開設した「万葉の小径」、そしてそれをきっかけに設立された公開講座「万葉の花の会」があります。本講座は、植物を通して『万葉集』に親しみ、『万葉集』を通して日本の自然や文化を理解することを目的に、広く一般の方々に年一回開催されています。この「万葉の花の会」の現会長は、本学名誉教授の辰巳正明先生に務めていただいております。このような縁もあって、辰巳正明先生には本書の編集委員長をお務めいただくこととなりました。

最後に、本書刊行にあたって、『万葉集』の最善本である西本願寺本を快く提供いただいた一般財団法人石川武美記念図書館、また本書の出版を引き受けてくださった株式会社八木書店出版部に心からの感謝を捧げるとともに、いつも学校法人國學院大學の活動に対して御指導・御支援を頂戴している関係各位の皆様にも、今後ともより一層の御理解と御協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

國學院大學學長 針本正行

今般、國學院大學創立百四十周年記念事業の一つとして、『萬葉集正義』が刊行されることとなった。本書の刊行は、近世に勃興した「国学」に由来する國學院大學の特色ある研究を踏まえたものであり、今後の古典研究の歴史にとっても、意義ある足跡を遺すこととなったといえよう。

國學院大學は創立当初より、建学の精神を「神道」に、学問の基礎を「国学」に求めてきた。これは本学の「寄附行為」に、「古典を講じ神道を究め汎く人文に関する諸学の理論及び応用を研究教授し、以て有用な人材を育成し文化の進展に寄与する」とあることから明らかである。即ち、本学は「古典」の研究を通して「神道精神」を体現し、「国学」に精通する人材育成に一貫して取り組み続けてきた、世界的にも希有な大学なのである。

改めて言うまでもなく、「国学」と「万葉集」には深い関わりが存在する。「国学」の鼻祖ともいえるべき契沖は、徳川光圀の依頼によつて『万葉代匠記』を著し、文献による実証主義に基づいた古典注釈史に画期をもたらした。この契沖の研究は、荷田春満に継承された。また、春満やその甥である荷田在満に学んだ賀茂真淵は『万葉新探百首解』冠辞考『万葉考』といった『万葉集』注釈を著した。そして、真淵は万葉調の歌を作ることを弟子に勧め、多くの学問展開を生んでいった。真淵の門人の中には、高名な本居宣長や『万葉集略解』を著した橋千蔭がいた。その後には、鹿持雅澄が春満からの学統を受けながら、学説を集大成し『万葉集古義』を著している。右のような近世の「国学」による『万葉集』研究を継承したが、皇典講究所・國學院大學であった。皇典講究所では明治十五年

の創立当初から真淵や本居大平の『万葉集』に関する著作が講義されており、明治二十三年に國學院が設置されると、厳密な本文批判や訓釈の考究を行ったことで、明治期の『万葉集』研究を牽引した木村正祥が講義を行っていた。この木村の研究態度・方法は、大正元年から國學院大學の『万葉集』講座を担当することとなる佐佐木信綱へ受け継がれ、『校本万葉集』へと結実していくこととなった。『校本万葉集』の作成に従事したのが本学出身の武田祐吉であり、國學院大學における『万葉集』研究の先達となる。武田は、『校本万葉集』の校訂作業で培われた厳密な文献学的方法を土台として考究を進め、上代文学研究の発展に貢献した。戦後には『万葉集全註釈』を刊行した。一方で武田の研究と双璧をなすのが同じ本学出身である折口信夫の研究であった。折口は、大正五年に『万葉集』初の口語訳「口訳万葉集」を出版し、柳田國男に師事して民俗学的な観点から研究を進めていくこととなったが、その成果は『古代研究』として大成する。このように武田祐吉の文献学的研究、折口信夫の民俗学的研究は、現在も國學院大學の研究者を中心に継承され、今日の『万葉集』研究の基盤の一つとなっているのである。

さて、本書『萬葉集正義』の特徴は、近世から現代に至る「国学」、あるいはこれまでの國學院大學において蓄積された特色ある研究を踏まえつつ、漢籍を中心に比較文学の知見を盛り込み、『万葉集』全二十巻を徹底精読して注釈を付したことであり、広く学界に裨益するものであると確信している。

最後に本書の刊行にあたり、辰巳正明名誉教授を中心とする『萬葉集正義』編集委員会の皆様には多大なる御協力を賜った。あらためて皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

**速報**  
2024年12月刊行開始!

尊経閣善本影印集成【第11輯 絵巻 全4冊】★定期予約・分売予約募集!

前田育徳会尊経閣文庫 編  
〔編集委員・解説〕土屋貴裕

★高精細カラー版  
★A4判横本・上製・貼函入・平均約170頁予定  
★セット予価 一三五、三〇〇円(本体) 一三三、〇〇〇円(税)  
ISBN978-4-8406-2611-8 (セット)  
★3ヶ月毎配本・各冊分売可

第1回配本〔2024年12月〕  
**⑧9 荏柄天神縁起**  
ISBN978-4-8406-2389-6 予価三五、二〇〇円(税込)

第2回配本〔2025年3月〕  
**⑨0 一遍聖絵 一**  
ISBN978-4-8406-2390-2 予価三六、三〇〇円(税込)  
〔所収〕巻一〜四・七・八甲・八乙

第3回配本〔2025年6月〕  
**⑨1 一遍聖絵 二**  
ISBN978-4-8406-2391-9 予価三三、〇〇〇円(税込)  
〔所収〕巻九〜十二

第4回配本〔2025年9月〕  
**⑨2 豊明絵草紙・祭礼草紙**  
ISBN978-4-8406-2392-6 予価三〇、八〇〇円(税込)

※各冊予価は2024年4月時点での設定です。  
最新情報は小社WEBサイトでご確認ください。

# 絵巻

中世の人々の営みを細部にいたるまで活写!  
至宝の絵巻をオールカラーで刊行

## 尊経閣善本影印集成 第十一輯

前田育徳会尊経閣文庫 編  
〔編集委員・解説〕土屋貴裕  
〔東京国立博物館 絵巻・彫刻室長〕

全4冊 定期予約・分売予約募集!

⑧9 荏柄天神縁起  
〔重要文化財〕  
〔えがらてんじんえんぎ〕

⑨0・⑨1 一遍聖絵 一・二  
〔重要文化財〕  
〔いとっぺんひじりえ〕

⑨2 豊明絵草紙・祭礼草紙  
〔重要文化財〕  
〔とよのあかりえぞうし〕  
〔さいれいぞうし〕

**高精細カラー版**



〔好評既刊〕図書館・研究室必備のシリーズ! ★各冊分売いたします

- ※各冊在庫は2024年4月時点での情報です。最新情報は小社WEBサイトでご確認ください。
- 第1輯 儀式書全12冊** (モノクロ網目版) (セット品切) ISBN4-8406-2291-4  
①〜⑥西宮記/⑦〜⑨北山抄(品切)/⑩〜⑫江次第
  - 第2輯 類書全5冊** (二色刷) (セット品切) ISBN4-8406-2292-2  
⑬秘府略/⑭〜⑯二中歴・掌中歴(⑭品切)/⑰拾芥抄(品切)
  - 第3輯 古辞書全8冊** (二色刷) (セット品切) ISBN4-8406-2293-0  
⑱⑲色葉字類抄(品切)/⑳節用集/㉑〜㉒字鏡集/㉓温故知新書・童蒙頌韻
  - 第4輯 古代史籍全9冊** (二色刷) セット定価 286,000円(10%税込) ISBN4-8406-2294-9  
㉔日本書紀/㉕〜㉖釈日本紀/㉗古事記/㉘古語拾遺/㉙〜㉚類聚国史
  - 第5輯 古代法制史料全5冊** (二色刷) セット定価 163,900円(10%税込) ISBN4-8406-2295-7  
㉛交替式・法曹類林/㉜政事要略/㉝〜㉞類聚三代格
  - 第6輯 古代説話全6冊** (二色刷) セット定価 151,800円(10%税込) ISBN978-4-8406-2296-7  
㉟日本霊異記/㊱三宝絵・日本往生極楽記/㊲新猿楽記/㊳三宝感応要略録/㊴江談抄/㊵中外抄
  - 第7輯 平安鎌倉儀式書全10冊** (二色刷) セット定価 257,400円(10%税込) ISBN978-4-8406-2297-4  
㊶内裏式/㊷本朝月令要文・小野宮故実旧例・年中行事秘抄/㊸雲図鈔/㊹無題号記録(『院御書』)・春玉秘抄/㊺春除目抄・京官除目次第・泉召除目記/㊻禁秘御抄/㊼局中宝/㊽夕拝備急至要抄・参議要抄/㊾羽林要秘抄・上卿簡要抄/㊿消息礼事及書礼事・大臣二人為尊者儀・大要抄・大内抄・暇服事
  - 第8輯 平安古記録全11冊** (高精細カラー版) セット定価 393,800円(10%税込) ISBN978-4-8406-2298-1  
㊿〜㊾小右記/㊿水左記/㊿台記〔宇槐記抄・宇槐雑抄・台記抄〕
  - 第9輯 鎌倉室町古記録全10冊** (高精細カラー版) セット定価 398,200円(10%税込) ISBN978-4-8406-2299-8  
㊿〜㊿実躬卿記/㊿実躬卿記・宣陽門院御落飾記・後愚昧記(山門嗽訴記・実豊卿記)/㊿公秀公記・実隆公記・建治三年記/㊿外記日記新抄/㊿外記日記新抄・享祿二年外記日記/㊿碧山日録/㊿蔗軒日録・盲聾記
  - 第10輯 古文書全12冊** (高精細カラー版) セット予価 379,500円(10%税込) ISBN978-4-8406-2300-1  
㊿武家手鑑 付旧武家手鑑/㊿〜㊿尊経閣古文書纂 諸家文書・社寺文書・編年雑纂文書(㊿近刊)

尊経閣善本影印集成 第11輯 絵巻 全4冊 [ ] セット ISBN978-4-8406-2611-8 セット予価 135,300円 *予価は税込みです			取扱店(番線印)
申 込 書	⑧9 荏柄天神縁起	ISBN978-4-8406-2389-6	分売 予価 35,200円 [ ] 冊
	⑨0 一遍聖絵 1	ISBN978-4-8406-2390-2	分売 予価 36,300円 [ ] 冊
	⑨1 一遍聖絵 2	ISBN978-4-8406-2391-9	分売 予価 33,000円 [ ] 冊
	⑨2 豊明絵草紙・祭礼草紙	ISBN978-4-8406-2392-6	分売 予価 30,800円 [ ] 冊
お名前(ふりがな)		TEL	
		FAX	
ご住所		E-MAIL	

# 荏柄天神縁起

三巻 鎌倉時代 元応元年（二二二九）奥書 重要文化財

菅原道真の生涯と北野社（現在の北野天満宮）創建に至るまでの経緯を描く北野天神縁起絵巻の一本。「荏柄天神縁起」の名称は、もと鎌倉の荏柄社に由来した北野天神縁起であることによるもので、元禄年間ごろに同社の別当一乗院から前田家に入ったものとされる。上中下三巻からなっており、上巻十一段は道真の幼少時から大宰権帥への左遷と九州下向までを、中巻十三段は配所における道真の生活と失意の中の逝去、没後の数々の祟りや日藏の冥土めぐりを、下巻十三段は北野社創建と数々の霊験を描く。奥書から、元応元年（二二二九）、藤原（二階堂カ）行長によって奉納されたと考えられており、鎌倉期の北野天神縁起絵巻諸本のうち数少ない完本の一つとして貴重である。



# 一遍聖絵

十一巻 室町時代 重要文化財 二巻一・二・四・九・十二 \*巻三・七・八甲・八乙は後代補巻

全国各地を遊行しながら教化につとめた時宗の開祖一遍上人智真（二二三九～二二八九）の生涯を描いた絵巻。尊経閣文庫所蔵本は、清浄光寺本（国宝、正安元年「二二九九」、聖戒編、十二巻）の古模本で、もと新善光寺御影堂蔵本である。巻一～四は着色、巻七～十二は白描。必ずしも原本に忠実な模写というわけではなく、新たに描き加えられた事物のほか、清浄光寺本で抹消・修正されている箇所を抹消以前の原形のままの状態を描いている箇所も存在する。諸国遊行の途次における公家や武士・地方有力者と一遍の交流が風景描写と共に克明緻密に描かれており、当時の庶民生活・風俗を知るための重要資料の一つとなっている。



# 豊明絵草紙

一巻 鎌倉時代 重要文化財

白描で調度や障屏画などを緻密に表現する。絵様は引目鉤鼻の系統を引き、唇などにわずかに朱を入れる。若くして中納言・左大将を兼任し、美しい妻と男女両三人の子に恵まれた主人公が、妻を病に亡くしたことで世の無常を悟り出家、庵を結んで念仏三昧の日々を送っていたところに、子息の少将が弟の若君の死を告げる。厭離穢土の心をいよいよ深くした主人公は、念仏の名号を唱え往生を遂げる、という内容。名称は「豊明のよなよなは」から始まる冒頭部をとったものである。この冒頭部は後深草院二条の「とはすがたり」の一節と一致しており、他にも類似する箇所が少なくないこと、漢籍・仏典の引用に教養豊かな作者が想定されることから、本絵巻の詞書を二条の作とする説がある。



# 祭礼草紙

一巻 室町時代 重要文化財

室町後期の大和絵草紙。何らかの祭礼の様子を描いたもので、詞書はない。巻頭の饗応の場面は、室町後期における会所（和歌会や茶の湯など種々の会合に用いられた座敷）の室礼を描いたもので、豪華な唐物磁器をふんだんに飾り付けた様子は、建築史・美術史の上でも注目されている。座敷の横には風呂が設けられており、夏風呂に入って茶を喫する淋汗茶湯を描いた実例とされる。続いて、祭礼の準備のため調度などを昇き出す者たち、盛装し供を連れた馬上の女二人、騎馬の稚児と甲冑を身に付けてそれに付き従う地下人たちの行列、様々な故事・和歌に題をとって当時「風流」とよばれた作り物を頭上にかついだ人々の行列、ミニチュアの神輿を昇く子どもたちなどが描かれる。

さよなら、品切れ。

# オンデマンド 復刊

受注生産／各冊分売いたします  
(並製・カバー装)



- ◆ 勸仲記 1 (史料纂集古記録編) 高橋秀樹・櫻井彦・中込律子校訂 \* 定価は税込です  
A5判 ISBN: 978-4-8406-3252-2 定価 11,000円
- ◆ 言継卿記 (全6冊) 高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂／国書刊行会編纂  
A5判 ISBN: 978-4-8406-3653-7 定価 85,800円
- ◆ 徳田秋聲全集 (全18巻) 編集委員 紅野敏郎・松本徹・宗像和重・田澤基久・紅野謙介  
A5判 ISBN: 978-4-8406-3651-3 定価 277,200円
- ◆ 図説 「見立」と「やつし」—日本文化の表現技法— 国文学研究資料館編  
B5判 ISBN: 978-4-8406-3469-4 定価 13,200円

裏面にもまだまだあります➡

八木書店

**\* 受注生産 / 各冊分売いたします (並製・カバー装)**  
**ご注文から 2 週間ほどで納品いたします**

◆ 史料募集古記録編

\* 定価は税込です

書名	著者	判型	ISBN	定価
権記 1	渡辺直彦校訂	A5	978-4-8406-3276-8	7,700
葉黄記 1	菊地康明・田沼睦校訂	A5	978-4-8406-3401-4	9,900
花園天皇宸記 1	村田正志校訂	A5	978-4-8406-3248-5	7,700
花園天皇宸記 2	村田正志校訂	A5	978-4-8406-3249-2	9,900
花園天皇宸記 3	村田正志校訂	A5	978-4-8406-3250-8	11,000
教言卿記 1	臼井信義・嗣永芳照校訂	A5	978-4-8406-3259-1	9,900
教言卿記 2	臼井信義・嗣永芳照校訂	A5	978-4-8406-3260-7	9,900
教言卿記 3・教興卿記	臼井信義・嗣永芳照校訂	A5	978-4-8406-3261-4	8,800
園太暦 1	岩橋小弥太・斎木一馬校訂	A5	978-4-8406-3001-6	14,300
園太暦 2	岩橋小弥太・斎木一馬校訂	A5	978-4-8406-3002-3	14,300
園太暦 3	岩橋小弥太・斎木一馬校訂	A5	978-4-8406-3003-0	14,300
園太暦 4	岩橋小弥太・村田正志・永島福太郎校訂	A5	978-4-8406-3004-7	14,300
松陰私語	峰岸純夫・川崎千鶴校訂	A5	978-4-8406-3338-3	11,000
三藐院記	近衛通隆・名和修・橋本政宣校訂	A5	978-4-8406-3302-4	8,800
義演准后日記 1	弥永貞三・鈴木茂男校訂	A5	978-4-8406-3254-6	11,000
義演准后日記 2	酒井信彦校訂	A5	978-4-8406-3255-3	12,100
義演准后日記 3	弥永貞三・副島種経校訂	A5	978-4-8406-3256-0	9,900
義演准后日記 4	酒井信彦校訂	A5	978-4-8406-3257-7	9,900
楽只堂年録 1	宮川葉子校訂	A5	978-4-8406-3251-5	9,900

◆ 史料募集古文書編

書名	著者	判型	ISBN	定価
青方文書 1	瀬野精一郎校訂	A5	978-4-8406-3431-1	7,700
青方文書 2	瀬野精一郎校訂	A5	978-4-8406-3430-4	7,700
五条家文書	村田正志・黒川高明校訂	A5	978-4-8406-3426-7	11,000
西福寺文書	玉山成元校訂	A5	978-4-8406-3429-8	7,700
朽木文書 1	奥野高廣・加藤哲校訂	A5	978-4-8406-3413-7	7,700
気多神社文書 1	藤井貞文・小倉学校訂	A5	978-4-8406-3408-3	9,900
気多神社文書 2	藤井貞文・小倉学校訂	A5	978-4-8406-3409-0	8,800
気多神社文書 3	藤井貞文・小倉学・木野主計校訂	A5	978-4-8406-3410-6	12,100
大樹寺文書	玉山成元校訂	A5	978-4-8406-3435-9	7,700
賀茂別雷神社文書 1	奥野高廣・岩沢彦校訂	A5	978-4-8406-3407-6	9,900

◆ 群書類従・続群書類従・続々群書類従

書名	著者	判型	ISBN	定価
群書類従 (全 30 冊)	埴保己一	A5	978-4-8406-3585-1	345,400
続群書類従 (全 86 冊)	埴保己一	A5	978-4-8406-3586-8	756,800
続々群書類従 (全 17 冊)	国書刊行会 / 古書古存会編	A5	978-4-8406-3587-5	203,500

◆ 系図・家紋

書名	著者	判型	ISBN	定価
断家譜 (全 3 冊)	斎木一馬・岩沢彦校訂	A5	978-4-8406-3654-4	33,000
寛永諸家系図伝 (全 17 冊)	斎木一馬・林亮勝・橋本政宣校訂	A5	978-4-8406-3595-0	168,300
寛政重修諸家譜家紋	千鹿野茂編	A5	978-4-8406-3052-8	13,200

◆ その他

書名	著者	判型	ISBN	定価
日本古代道路事典	古代交通研究会編	A4	978-4-8406-3476-2	13,200
新版 色道大鏡	新版色道大鏡刊行会編	A5	978-4-8406-3605-6	26,400
近世物之本江戸作者部類	木村三四吾編	A5	978-4-8406-3599-8	16,500

このほかにもオンデマンド書目がございます。  
 詳しくは右記の QR コードから八木書店サイトをご覧ください。



**八木書店**

【お申込み・お問い合わせ先】

八木書店総合営業部 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 E-mail:pub@books-yagi.co.jp

定家本（青表紙本）系統の諸本中、  
最重要古写本の全貌を初公開！  
五十二巻のうち四十八巻が鎌倉末写の基幹巻

2018年新指定！

重要文化財

# 源氏物語 池田本

全十巻

セット定価三七八、四〇〇円（10%税込）

高精細カラー版

新天理図書館善本叢書 第13～22巻 ● A5判／平均六〇六頁／分売可

天理図書館貴重書室

【解題】岡寫偉久子

★各巻明細は[こちら](#)から↓

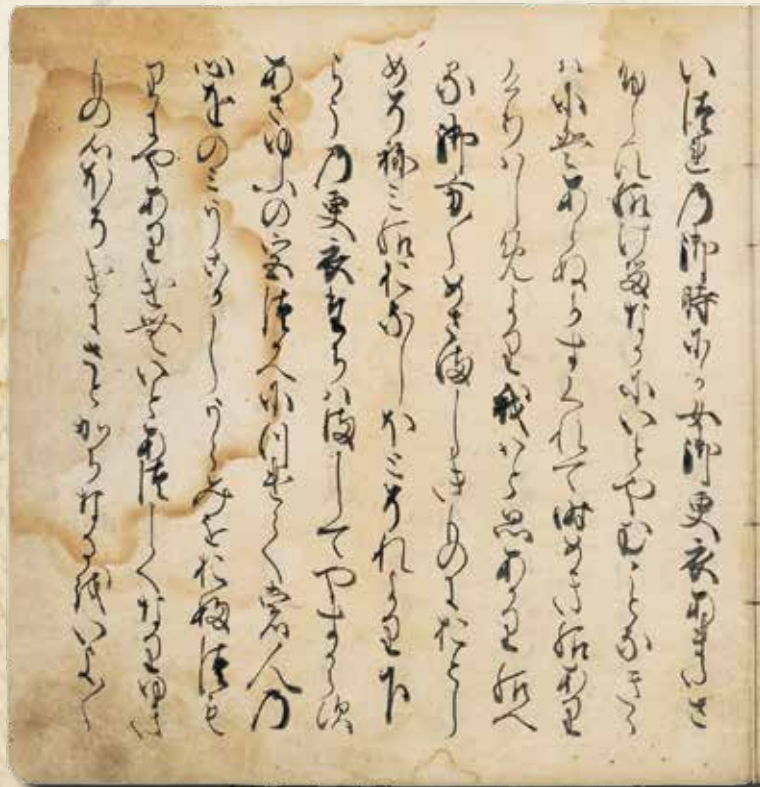


源氏物語の新たな底本として必備！

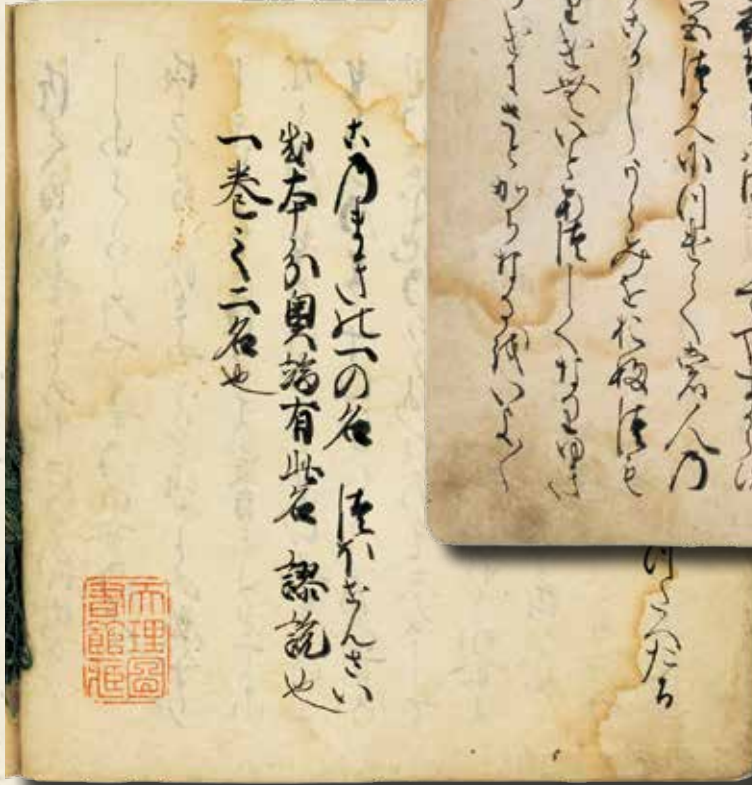
八木書店  
YAGI BOOK STORE LTD.



- 『源氏物語』の鎌倉写本中、成立当初の基幹巻を最も多く保持（四十八巻）。
- 基幹巻の本文は全て青表紙本で揃っており、鎌倉写本として他に類例なし。
- 基幹巻の書写者はほぼ二手（甲・乙）、甲筆の三十六巻は整った一定の筆致。
- 基幹巻のうち十一巻に「奥入」あり、そのうち八巻は本文と同筆。



桐壺 巻頭と奥入



本書は、かつて池田亀鑑「桃園文庫」の所蔵であったことから「池田本」、あるいは「二条為明筆」との極札を持つことから「伝二条為明筆本」とも呼称されてきた。『源氏物語』五十四巻中の花散里・柏木巻を欠いて全五十二巻四十九冊。この内、後からの取り合わせである四巻四冊を除く四十八巻が成立当初の基幹の巻々である。『源氏物語大成』以来、その筆致・紙質・装本の趣等から鎌倉末期の成立と認定されている。このような池田本は、『源氏物語』鎌倉写本中、成立当初の基幹巻を最も多く保持する伝本であり、同時に、その四十八巻の本文がすべて「青表紙本」で揃っていることは、「青表紙本」鎌倉写本において現在のところ他に例がない。この基幹巻四十八巻は書写者がほぼ二手（甲・乙）に集約される。中でも甲筆とした三十六巻は整った一定の筆致であり、この内の八巻には本文同筆の「奥入」が付載されている。

藤原定家が『源氏物語』本文を整えた時、その各巻末に書き入れた簡略な勘物である「奥入」。その有無は『大成』においての「青表紙本」伝本価値判断の最も重要な事項の一つであった。その後「奥入」についての調査・研究は進展し、本書池田本の「奥入」は最も初期の形態に属するものか、との再評価も行われている。

鎌倉写本としての池田本の姿を見る時、後補の打曇紙表紙の次には、多くの巻々に成立当初の本文共紙表紙がそのまま残されている。鎌倉期の本文に対しては、室町期の勘物に類する行間書入の他には、ほぼ後補の手が入っていない。本書は成立当初の本文・姿を比較的明瞭にたどれる写本であると言つてよい。

定家が整えた「青表紙本」の本文は、室町期以降現在に至るまでほぼ『源氏物語』鑑賞・研究の基底本文であったと言つてよい。しかし近年、この「青表紙本」の概念に対しての様々な疑義・見解が報告され論じられている。旧来の「青表紙本」の概念そのものが揺らいでいる現今の状況において、鎌倉期成立当初の基幹本文四十八巻をそのまま保持している池田本は、向後、重要な役割を果たす伝本となると思われる。

最新の原本調査により河内本の祖本と目される  
重要写本の全貌を高精細オールカラーで影印！

●源氏物語本文研究に新たな画期をなす必備資料！

【重要文化財】 高精細カラー版

# 尾州家河内本 源氏物語

全10巻 好評発売中！

【原本所蔵・監修】名古屋市蓬左文庫 【解題】岡嶋偉久子

- ◆ B5 判上製・貼函入・平均440頁・各巻定価30,800円（本体28,000円＋税10%）※分売可
- ◆ 全10巻完結セット定価308,000円（本体280,000円＋税10%）ISBN978-4-8406-9340-0（セット）



源氏物語本文系統（青表紙本・河内本・別本）の再検討が提起されている今、  
源親行稿本の可能性が指摘される最重要古写本の全貌が明らかに！



- 第1巻 桐壺・帚木・空蟬・夕顔・若紫・末摘花
- 第2巻 紅葉賀・花宴・葵・賢木・花散里・須磨・明石
- 第3巻 濡標・蓬生・関屋・絵合・松風・薄雲
- 第4巻 朝顔・少女・玉鬘・初音・胡蝶・蛩・常夏
- 第5巻 篝火・野分・行幸・藤袴・真木柱・梅枝・藤裏葉
- 第6巻 若菜上・若菜下
- 第7巻 柏木・横笛・鈴虫・夕霧・御法・幻
- 第8巻 匂宮・紅梅・竹河・橋姫・椎本・総角
- 第9巻 早蕨・宿木・東屋
- 第10巻 浮舟・蜻蛉・手習・夢浮橋

## 尾州家河内本源氏物語について

鎌倉時代に源光行・親行父子による源氏物語本文の研究・校訂によって成立した河内本（父子ともに河内守であったことに由来）の最古写本として伝わり、54帖が揃った源氏物語の写本としても現存最古の一つである。

本文は厚手の鳥の子料紙、表紙には重厚美麗な装飾料紙を用いた大和綴の大型冊子本で、鎌倉期書写の41巻と室町前期頃書写の後補13巻より成り、元来は54巻54冊であったものを後に23冊に合綴。「夢浮橋」巻末に金沢（北条）実時の奥書がある。尾張徳川家に伝えられて現在は名古屋市蓬左文庫が所蔵し、重要文化財に指定されている。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp>

初の全文翻刻！

か げつ に っ き

# 花月日記 5

(全6冊予定)

史料纂集古記録編 第220回配本 2024年6月刊行予定

岡寫偉久子・山根陸宏 校訂

〔収録〕文政5年(1822)正月～文政8年(1825)12月

A5判上製・函入・312頁・定価18,700円(本体17,000円+税) ISBN978-4-8406-5220-9

## 「寛政の改革」を断行した老中 松平定信の晩年の日記



江戸幕府老中、松平定信(1758～1829)の晩年の日記。白河藩主致仕の日をもって起筆、以後逝去の前年までの日記。定信の見識を通じての、当代の世情、事件、及び政治・文化面の具体的な記述、様々な人物への評言には、実に興味深いものがある。

若くして徳川幕府老中首座・將軍補佐となり、「寛政の改革」を断行した松平定信が白河藩主致仕の日(文化9年4月6日55歳)を以て起筆、以後、逝去前年の文政11年末まで書き続けた17年間の日次記がこの『花月日記』である。

退隠後は、住居を江戸築地の藩邸下屋敷「浴恩園」に移し、自ら「楽翁」また「花月翁」と称した。優雅な擬古文でつづられた当『花月日記』の記述の多くは、約2万坪の大庭園「浴恩園」での、四季の花々を愛で、月を賞し、心知れる友と語らう、風流清雅な日々の記とあってよい。文中には、その時々数多の和歌が詠み込まれ、さながら歌日記の態をなしている。定信生前に歌集として版行されたのは『三草集』930余首のみであるが、この『花月日記』に詠み込まれた歌は各年300～400首を超える。

第5冊は、この頃頻繁に日本周辺海域に出没する異国船に備える海防関連の記事がみられる。文政6年(1823)3月、子の定永が白河より桑名に転封となる。これは定永が父祖の地に国替えしたいという希望によったとされている。また同月に定信は房総半島防備の任を解任され、日記の中で「上よりめんぜらるゝ事なれば、せんすべなし」と慨嘆している。

藩邸下屋敷「浴恩園」は閉鎖された旧築地市場(東京都中央区)の広大な跡地に眠っている。数十年にわたり地下に埋もれてきたが、東京五輪・パラリンピック後の再開発に伴い、初の発掘調査が始められた。庭園の再発見と実態解明に期待が高まっている。



### 《既刊 好評発売中！》

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 【第209回配本 花月日記1】文化9年(1812)4月～文化10年(1813)12月<br>A5判上製・函入・300頁・定価17,600円(本体16,000円+税)  | (2020年12月刊行)<br>ISBN978-4-8406-5209-4 |
| 【第212回配本 花月日記2】文化11年(1814)正月～文化12年(1815)12月<br>A5判上製・函入・332頁・定価18,700円(本体17,000円+税) | (2021年12月刊行)<br>ISBN978-4-8406-5212-4 |
| 【第214回配本 花月日記3】文化13年(1816)正月～文化14年(1817)12月<br>A5判上製・函入・260頁・定価17,600円(本体16,000円+税) | (2022年7月刊行)<br>ISBN978-4-8406-5214-8  |
| 【第216回配本 花月日記4】文化15年(1818)正月～文政4年(1821)12月<br>A5判上製・函入・328頁・定価18,700円(本体17,000円+税)  | (2023年5月刊行)<br>ISBN978-4-8406-5216-2  |

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

配本	書名	税込価格	注文	配本	書名	税込価格	注文	配本	書名	税込価格	注文	配本	書名	税込価格	注文
<b>【古記録編】(既刊219冊)</b>				61	三箇院家抄1〔OD版〕	9,900		123	慈性日記1	9,900		175	太梁公日記5	16,500	
39	吏部王記	11,000		67	三箇院家抄2〔OD版〕	9,900		128	慈性日記2	15,400		79	田村藍水西湖公用日記〔OD〕	11,000	
57	権記1〔OD版〕	7,700		70	師郷記1〔OD版〕	8,800		95	泰重卿記1	8,800		155	神田橋護持院日記	14,300	
82	権記2	8,800		73	師郷記2	6,050		113	泰重卿記2	8,800		170	護国寺日記1	14,300	
106	権記3	8,800		77	師郷記3〔OD版〕	8,800		138	泰重卿記3	11,000		179	護国寺日記2	16,500	
215	参天台五臺山記1	17,600		81	師郷記4〔OD版〕	9,900		50	本源自性院記	(品切)		184	護国寺日記3	16,500	
217	参天台五臺山記2	15,400		84	師郷記5〔OD版〕	9,900		147	京都金地院公文帳	14,300		194	護国寺日記4	16,500	
52	台記1	5,940		126	師郷記6〔OD版〕	9,900		213	瑞龍公実録	19,800		202	護国寺日記5	16,500	
18	明月記1	9,900		23	北野社家日記1	7,260		110	国史館日録1	11,000		191	江戸幕府大坂金藏助定帳	16,500	
16	葉黄記1〔OD版〕	9,900		24	北野社家日記2	6,820		114	国史館日録2	9,900		209	花月日記1	17,600	
141	葉黄記2	13,200		27	北野社家日記3	6,820		116	国史館日録3	11,000		212	花月日記2	18,700	
218	平戸記1	17,600		31	北野社家日記4	7,700		117	国史館日録4	9,900		214	花月日記3	17,600	
149	勘仲記1〔OD版〕	11,000		33	北野社家日記5	7,480		143	国史館日録5(南塾乗)	12,100		216	花月日記4	17,600	
157	勘仲記2	14,300		36	北野社家日記6	7,700		162	案只堂年録1〔OD版〕	9,900		219	礼物軌式	17,600	
166	勘仲記3	14,300		127	北野社家日記7〔OD版〕	9,900		168	案只堂年録2	14,300		<b>【古文書編】(既刊53冊)</b>			
177	勘仲記4	14,300		159	北野社家日記8	14,300		174	案只堂年録3	14,300		6	青方文書1〔OD版〕	7,700	
189	勘仲記5	14,300		187	氏経卿神事記1	15,400		176	案只堂年録4	15,400		9	青方文書2〔OD版〕	7,700	
200	勘仲記6	14,300		207	氏経卿神事記2	16,500		182	案只堂年録5	15,400		17	飯野八幡宮文書	6,600	
211	勘仲記7	14,300		115	長興宿禰記	9,900		193	案只堂年録6	15,400		19	光明寺文書1	6,380	
3	公衡公記1〔OD版〕	8,800		161	松陰私語〔OD版〕	11,000		199	案只堂年録7	15,400		21	光明寺文書2	7,480	
7	公衡公記2	4,180		122	親長卿記1	9,900		205	案只堂年録8	15,400		1	熊野那智大社文書1	8,800	
41	公衡公記3	7,040		132	親長卿記2	11,000		210	案只堂年録9	16,500		3	熊野那智大社文書2	8,800	
58	公衡公記4〔OD版〕	7,700		146	親長卿記3	12,100		85	通誠公記1	8,800		5	熊野那智大社文書3	8,800	
62	花園天皇宸記1〔OD版〕	7,700		8	言国卿記1〔OD版〕	9,900		89	通誠公記2	8,800		8	熊野那智大社文書4	8,800	
66	花園天皇宸記2〔OD版〕	9,900		43	言国卿記2〔OD版〕	9,900		6	隆光僧正日記1〔OD版〕	11,000		10	熊野那智大社文書5	8,800	
80	花園天皇宸記3〔OD版〕	11,000		46	言国卿記3〔OD版〕	9,900		11	隆光僧正日記2	4,180		24	熊野那智大社文書索引	8,800	
番外	園太暦1〔OD版〕	14,300		53	言国卿記4〔OD版〕	9,900		13	隆光僧正日記3〔OD版〕	11,000		13	相馬文書〔OD版〕	8,800	
番外	園太暦2〔OD版〕	14,300		55	言国卿記5〔OD版〕	8,800		68	妙法院日次記1	7,040		7	五条家文書〔OD版〕	11,000	
番外	園太暦3〔OD版〕	14,300		56	言国卿記6〔OD版〕	8,800		74	妙法院日次記2	8,140		20	入江文書	8,470	
番外	園太暦4〔OD版〕	14,300		69	言国卿記7	5,720		78	妙法院日次記3	8,140		4	西福寺文書〔OD版〕	7,700	
34	園太暦5	8,800		100	言国卿記8〔OD版〕	8,800		83	妙法院日次記4	7,260		12	朽木文書1〔OD版〕	7,700	
75	園太暦6	8,800		26	十輪院内府記	8,800		86	妙法院日次記5	7,920		15	朽木文書2	5,720	
76	園太暦7	8,800		87	政覚大僧正記1	7,260		88	妙法院日次記6	11,000		38	朽木家文書1	14,300	
2	師守記1	4,180		102	政覚大僧正記2	11,000		90	妙法院日次記7	11,000		40	朽木家文書2	14,300	
5	師守記2	4,180		108	鹿苑院公文帳	11,000		92	妙法院日次記8	15,400		23	沢氏古文書1	6,835	
9	師守記3	4,510		30	元長卿記〔OD版〕	12,100		94	妙法院日次記9	15,400		11	気多神社文書1〔OD版〕	9,900	
15	師守記4	5,280		198	守光公記1	15,400		97	妙法院日次記10	13,200		14	気多神社文書2〔OD版〕	8,800	
21	師守記5	7,480		208	守光公記2	17,600		99	妙法院日次記11	13,200		18	気多神社文書3〔OD版〕	12,100	
25	師守記6	7,920		135	長楽寺永祿日記	15,400		103	妙法院日次記12	15,400		16	大樹寺文書〔OD版〕	7,700	
37	師守記7	8,360		19	兼見卿記1 (品切)			109	妙法院日次記13	14,300		2	言継卿記紙背文書1	8,800	
40	師守記8	7,480		171	兼見卿記1〔新訂増補〕	14,300		112	妙法院日次記14	15,400		35	言継卿記紙背文書2	11,000	
44	師守記9〔OD版〕	9,900		47	兼見卿記2 (品切)			119	妙法院日次記15	16,500		25	歴代古案1	9,900	
49	師守記10〔OD版〕	11,000		172	兼見卿記2〔新訂増補〕	14,300		121	妙法院日次記16	12,100		26	歴代古案2〔OD版〕	8,800	
63	師守記11〔OD版〕	11,000		173	兼見卿記3	14,300		125	妙法院日次記17	15,400		29	歴代古案3	9,900	
196	兼宣公記1〔新訂増補〕	20,900		178	兼見卿記4	14,300		129	妙法院日次記18〔OD版〕	12,100		33	歴代古案4〔OD版〕	8,800	
29	兼宣公記1	(品切)		183	兼見卿記5	14,300		134	妙法院日次記19〔OD版〕	14,300		34	歴代古案5	9,900	
165	兼宣公記2	14,300		190	兼見卿記6	14,300		139	妙法院日次記20〔OD版〕	13,200		39	別本歴代古案1	14,300	
160	迎陽記1	14,300		203	兼見卿記7	14,300		144	妙法院日次記21〔OD版〕	14,300		43	別本歴代古案2	14,300	
188	迎陽記2	15,400		12	舜旧記1〔OD版〕	11,000		151	妙法院日次記22	16,500		44	別本歴代古案3	14,300	
10	教言卿記1〔OD版〕	9,900		32	舜旧記2〔OD版〕	9,900		158	妙法院日次記23	16,500		27	賀茂別雷神社文書1〔OD版〕	9,900	
20	教言卿記2〔OD版〕	9,900		51	舜旧記3〔OD版〕	9,900		169	妙法院日次記24	16,500		22	長楽寺文書〔OD版〕	11,000	
38	教言卿記3・教興卿記〔OD版〕	8,800		59	舜旧記4〔OD版〕	8,800		204	妙法院日次記25	18,700		28	北野神社文書	9,900	
154	教言卿記4	15,400		64	舜旧記5〔OD版〕	8,800		101	香取大禰宜家日記1	16,500		30	石清水八幡宮文書 外	8,800	
1	山科家礼記1	11,000		98	舜旧記6〔OD版〕	9,900		137	香取大禰宜家日記2	16,500		31	大仙院文書	12,100	
4	山科家礼記2	4,510		105	舜旧記7〔OD版〕	9,900		152	香取大禰宜家日記3	16,500		32	近江大原観音寺文書1	9,900	
14	山科家礼記3〔OD版〕	9,900		120	舜旧記8〔OD版〕	9,900		91	通兄公記1	11,000		36	福智院家文書1	12,100	
22	山科家礼記4〔OD版〕	9,900		45	三藐院記〔OD版〕	8,800		93	通兄公記2	11,000		37	福智院家文書2	13,200	
35	山科家礼記5	8,580		48	義演准后日記1〔OD版〕	11,000		96	通兄公記3	8,800		46	福智院家文書3	14,300	
130	山科家礼記6索引	12,100		65	義演准后日記2〔OD版〕	12,100		104	通兄公記4	11,000		41	東山御文庫1地下文書 (品切)		
17	経覚私要鈔1	5,280		71	義演准后日記3〔OD版〕	9,900		111	通兄公記5	8,800		45	東山御文庫2延暦寺文書	14,300	
28	経覚私要鈔2〔OD版〕	9,900		145	義演准后日記4〔OD版〕	9,900		118	通兄公記6	9,900		42	石清水八幡宮社家文書	14,300	
42	経覚私要鈔3	7,260		60	慶長日件録1〔OD版〕	7,700		124	通兄公記7	11,000		47	籠手田文書	20,900	
54	経覚私要鈔4	7,260		107	慶長日件録2	7,700		131	通兄公記8〔OD版〕	9,900		48	尊経閣文庫所蔵石清水文書	19,800	
72	経覚私要鈔5〔OD版〕	11,000		181	中臣祐範記1	16,500		136	通兄公記9	12,100		49	井戸村家文書1	16,500	
133	経覚私要鈔6〔OD版〕	9,900		186	中臣祐範記2	16,500		142	通兄公記10	12,100		50	井戸村家文書2	16,500	
150	経覚私要鈔7〔OD版〕	11,000		192	中臣祐範記3	16,500		153	通兄公記11	14,300		51	宇治堀家文書	17,600	
163	経覚私要鈔8	14,300		180	源敬様御代御記録1	16,500		140	太梁公日記1	13,200		52	安保文書	18,700	
167	経覚私要鈔9	14,300		185	源敬様御代御記録2	16,500		148	太梁公日記2	15,400		53	出雲国造 北嶋家文書	22,000	
197	経覚私要鈔10	14,300		195	源敬様御代御記録3	16,500		156	太梁公日記3	15,400					
206	経覚私要鈔11	17,600		201	源敬様御代御記録4	16,500		164	太梁公日記4	15,400					

※配列は時代順、書名の頭番号は配本回数です。詳細はWebサイト(<https://catalogue.books-yagi.co.jp/>)をご覧ください。

※〔OD版〕…オンデマンド版(受注生産)。装幀は従来の上製・函入から、使いやすい並製・カバー装に(判型はA5判で変更なし)。

# 八木書店出版図書目録

—古代・中世・近世—

ダイジェスト

【2024年5月】



★新刊 (2024年3月)



★新刊 (2024年2月)

★各書目のQRコードから詳細情報にアクセス！

【ご注文方法】 最寄りの書店または小社までお申込みください。  
小社ではメール・電話・Fax・Webサイトでご注文を承ります。

※本目録の表示価格は税別の本体価格です。



八木書店



〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

【Tel】 03-3291-2961 (営業) / 03-3291-2969 (編集)

【Fax】 03-3291-6300 【E-mail】 pub@books-yagi.co.jp

【Web】 <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

将軍直臣から読み解く室町幕府の家格秩序  
将軍直臣は守護・大名といかなる関係を構築したか  
将軍権力の再生産構造を武家儀礼と直臣の家格秩序の観点で徹底解明  
将軍直臣層を番衆（奉公衆）だけではなく、外様衆にまで広げて検討！

むろまちばく ふしょうぐんじきしん かくしき

# 室町幕府将軍直臣と格式

西島太郎著

(道手門学院大学文学部教授)

2024年2月刊行 好評発売中！ 定価 11,000円（本体 10,000円＋税）

A5判・上製・函入・572頁 ISBN978-4-8406-2277-5 C3021 ¥10000E



## ① 在地有力者が中央権力といかに結びついていくのかを信仰面から解き明かす

郡鎮守の地方神社が、全国から崇敬を受けるようになる理由は何か。本書では、新興勢力が寺社へ奉加（寄付）を行うことの意味を考察する。室町将軍による近江浅井氏に対する栄典授与や、地方の在地領主による愛宕信仰の受容を示す社記を分析し、実態を解明する。

## ② 番衆（奉公衆）に限定せず外様衆を含めた将軍直臣総体を意識し将軍権力を読み解く

将軍直臣が分布する尾張・三河の外様衆や番衆（奉公衆）を一覧にまとめ、根拠となる所領所見とともに提示する。また、大嘗会における天羽衣役の調進過程を詳細に分析することで、朝廷・幕府・在地領主の三者が支えた室町期大嘗会の実像に迫る。

## ③ 将軍直臣と守護・大名権力との関係を紐解く

出雲尼子氏はいかにして主家京極氏から守護職を篡奪したのか。尼子氏の出雲・隠岐守護への補任過程を幕府格式のあり方から検討する。尼子氏が守護被官から将軍直臣へと立場を変えることで、守護そして大名へと至ることを解明し、定説より37年早い守護補任を説く。石見益田氏にとっての家格「大外様」の意味や、戦国期畿内の争乱を近江六角氏の姻戚関係などから俯瞰する。また鎌倉～江戸時代の大名京極氏墓所の変遷とその意義を探る。

## ④ 在地領主・大名研究の展望を示す研究史整理と書評を収載

戦国期畿内とその周辺の武家領主研究をまとめ、研究書の書評を通じ、新たな武家領主研究の方向性を提示する。

## 古代

\* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

島根県古代文化センター編

## 出雲国風土記 一校訂・注釈編一

いずものくにふどき こうてい・ちゅうしゃくへん

ISBN978-4-8406-2262-2

A5判 740頁 本体5,000円



神々の国・出雲を描く『出雲国風土記』を精読！歴史学・文学の研究者の最新論考を収録した「総論」、テーマごとに『出雲国風土記』を解説した「総説」、細川家本など主要7写本を参照した最良の「校訂本文」・「読み下し文」と200頁以上にわたる詳細な「補注」、[地図・写本編]と連動する便利な「本文索引」を収録。(2023.3)

島根県古代文化センター編

## 出雲国風土記 一地図・写本編一

いずものくにふどき ちず・しゃほんへん

ISBN978-4-8406-2253-0

A4判 648頁 [品切]



『出雲国風土記』研究の決定版！『出雲国風土記』にみえる地名・産物・社寺などを地図上に落とし込んだ「地図編」、細川家本など主要7写本の写真を1行ずつ並べ、校訂本文とともに提示する「写本編」、出雲国の古代交通路を復元した「特論」を収録。[校訂・注釈編]と合わせることで理解が深まる。(2022.3)

吉村武彦・加藤友康・川尻秋生・中村友一編

## 墨書土器と文字瓦 一出土文字史料の研究一

ぼくしよどきともじがわら しゅつどもじりょうのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2261-5

B5判 384頁 本体8,000円



地中から出土する文字史料が語る古代社会。全国の発掘調査により出土した多様な墨書土器・文字瓦を読み解き、東アジア漢字文化圏での事例など、多彩な論点から古代社会を再現した最新研究。文献史学、考古学、日本語学の研究者30名が、最新研究成果をふまえた書下ろし論考を収録。(2023.1)

上村正裕著

## 日本古代王権と貴族社会

いほんこだいおうけんときぞくしゃかい

ISBN978-4-8406-2259-2

A5判 544頁 本体9,000円



古代国家を運営したのはだれか。奈良・平安時代の王権を構成した太上天皇・皇后・皇太后に注目し、権力構造の変質過程を活写。王権を補充した貴族層にも注目した、新たな王権・政治史研究。恣意的になりがちな政治史研究に対して、多角的な視点から政治史を描く方法を提示。11本の新稿収録。(2023.1)

吉村武彦編

## 律令制国家の理念と実像

りつりょうせいこっかのりねんとじつざう

ISBN978-4-8406-2257-8

A5判 482頁 本体11,000円



律令制国家は何をめざし、実現したのか。律令法の施行により法治国家として整備された日本古代国家。新たな法の理念と、従来への慣習による実態とを、具体的・多角的に検証。文献史学・考古学の研究者16名が結集した最新研究。全三部（律令制以前の法と支配/律令制支配の実像/平安時代の法と実像）(2022.5)

関根 淳著

## 日本古代史書研究

いほんこだいししよけんきゅう

ISBN978-4-8406-2251-6

A5判 432頁 本体9,500円



史書の分析を通して古代国家の歴史認識を読み解いた新たな史料学。天皇記・国記など、現存しない六国史以前の史書の実像を探り、古事記・六国史を再検証する。最新研究を網羅し、史書そのものについて知らなくてはならない重要ポイントを解説。歴史学はもちろん、文学や図書館学など、史書を扱うすべての分野に必読の書。(2022.5)

矢越葉子著

## 日本古代の文書行政 一正倉院文書の形成と復原一

いほんこだいのもんじよぎょうせい

ISBN978-4-8406-2240-0

A5判 434頁 本体8,000円



文書はどのように作成・保管されたのか。律令国家を動かした文書行政の実態や、正倉院文書の作成から保管に至る史料群の形成過程、さらに中国・敦煌文書との比較から、日本の文書行政の特質を解明。続々修と未修古文書目録、また大日本古文書の掲載頁を全124頁にわたる一覧で表示。(2020.12)

岩田真由子著

## 日本古代の親子関係 一孝養・相続・追善一

いほんこだいのおやかんけい こうよう・そうぞく・ついぜん

ISBN978-4-8406-2235-6

A5判 488頁 本体10,000円



親の世話をするのはだれか。なぜ、親の供養を行うのか。親と子の関係が天皇家（王権）にどのような影響を与えたのか。古代・中世前期の親子の精神面を読み解き、王権の変質過程、「家」観念の成立、土地の権利意識の変遷など重要な論点を提示した、新たな王権・家族史研究。(2020.4)

長谷部将司著

## 日本古代の記憶と典籍

いほんこだいのきおくとてんせき

ISBN978-4-8406-2236-3

A5判 378頁 本体9,000円



古代人の「記憶」はどのように形成されたのか。日本古代の史書・系譜・説話・詩歌集などさまざまな典籍を検討し、作成者がどのような意図で編纂したのか、受容者はどのような認識で受け取ったのかなどの観点から、双方における「記憶」の形成や更新の実態、両者の情報格差をあざやかに明示する。(2020.4)

遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編  
**日本書紀の誕生** 一 編纂と受容の歴史

にほんしょぎのたんじょう へんさんとじゅようのれきし  
 ISBN978-4-8406-2225-7  
 A5判 536頁 本体4,800円



日本最初の「正史」はどのように編纂され、読み継がれたのか。最新の研究成果をふまえ、多彩な分野の研究者21名が日本書紀を読む前に知らなくてはならない事項を書き下ろした。待望の日本書紀研究入門。主要写本のカラー口絵・文献目録・関連史料集・写本一覧など付録満載。(2018.4)

明治大学除目書刊行委員会編/田島公・末柄豊・牧野淳司・南保勝美  
**明治大学三條西家本 除目書**

めいじだいがくとしょかんしよぞう さんじょうにしげぼん じもくしよ  
 ISBN978-4-8406-2248-6  
 B5判 344頁 本体15,000円



新発見! 平安時代・後三条天皇自撰の幻の儀式書を初公開。除目の儀式次第・作法を書いた、幻の儀式書『除移鈔』(『院御書』の除目儀部分)の影印・翻刻・解説を付して全貌を初公開。九条家流の故実書と、室町期の地方文化ネットワークを知る紙背文書約50通も併載。(2021.5)

明治大学広開土王碑拓本刊行委員会編/吉村武彦・加藤友康・徐建新・吉田悦志  
**明治大学高句麗広開土王碑拓本**

めいじだいがくとしょかんしよぞう こうりくこうたいおうひたくぼん  
 ISBN978-4-8406-2223-3  
 B5判 360頁 本体15,000円



4世紀の高句麗・古代日本・百濟・新羅など、東アジアを知る最重要資料の決定版! 新たに見つかった明大本2種を含む重要な拓本7種を厳選し、全拓本画像と釈文を一覧にし、拓本画像による釈文の再検証ができる。重要資料「集安高句麗碑」の解説・全文翻刻と書下ろし論考7本を併載。(2019.3)

鈴木靖民監修/高久健二・田中史生・浜田久美子編  
**古代日本対外交流史事典**

こだいにほんたいがいこうりゆうしじてん  
 ISBN978-4-8406-2249-3  
 A5判 488頁 本体6,000円



古代日本と中国・朝鮮半島との交流の歴史について最新の研究成果をもとめた「読む事典」。日本・中国・韓国の最前線で活躍する文献史学・考古学・文学の専門家30名が、40のテーマ解説と376語のキーワードで、最新の研究成果を書き下ろした事典。27種の詳細かつ多彩な情報を付した地図を付録。(2021.11)

水上雅晴編/編集協力 高田宗平  
**年号と東アジア** 一 改元の思想と文化

ねんごうとひがしあじあ かいげんのしそうとぶんか  
 ISBN978-4-8406-2227-1  
 A5判 792頁 本体12,000円



時の命名こそ支配一年号は単に時を表すだけではなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多彩に読解。(2019.4)

金子修一著  
**古代東アジア世界史論考** 一 改訂増補 隋唐の国際秩序と東アジア

こだいひがしあじあせかいしろんこう  
 ISBN978-4-8406-2229-5  
 A5判 600頁 本体11,000円



東アジア史をリードする著者が、中国を中心とした東アジア諸国の新たな世界観を提示。中国を中心に、東馬国・倭国・渤海、突厥、高句麗、百濟など、周辺諸国を含む古代東アジアの国際秩序を解明。旧著『隋唐の国際秩序と東アジア』収録論考11本に加筆、新稿3本と旧著未収録11本と索引を収録。(2019.2)

近藤 剛著  
**日本高麗関係史**

にほんこうらいかんけいし  
 ISBN978-4-8406-2233-2  
 A5判 464頁 本体9,800円



これまで個別に論じられてきた日本と高麗(918-1392)の関係について、とくに等閑視されてきたモンゴル襲来以前に注目したはじめての本格的な総合的研究。正式な通交関係になかった日本と高麗を中心に、契丹(遼)・金との国際関係をも含んだ東アジア全体から俯瞰。韓国の最新研究や韓国の金石文等の成果もふまえ検証。(2019.10)

井上幸治著  
**古代中世の文書管理と官人**

こだいちゅうせいのもんじょかんりとかんじん  
 ISBN978-4-8406-2213-4  
 A5判 480頁 本体9,000円



文書はだれが作成し、どうやって保管したのか。前近代の文書の記録と管理=アーカイブを担当した実務官人に注目し、古代から中世への移行期の実態と、中世公家政権の成立事情を明らかにする。文書のアーカイブの歴史という視点から、古代から中世にかけての朝廷政治の構造を叙述する。(2016.2)

鈴木正信著  
**日本古代の国造と地域支配**

にほんこだいのこくぞうとちいきしはい  
 ISBN978-4-8406-2265-3  
 A5判 376頁 本体10,000円



ヤマト王権と豪族の実態とは。古墳から飛鳥時代にかけて地域を支配した国造をてがかりに、ヤマト王権の成立を解明する。国造が各地域をどのように支配したのかという問題に焦点を当て、国造制に関する最新の研究成果をまとめる。国宝『海部氏系図』の研究・翻刻を付すなど、系譜研究にも必須。(2023.8)

篠川賢・大川原竜一・鈴木正信編著  
**国造制・部民制の研究**

こくぞうせい・べみんせいのけんきぎゅう  
 ISBN978-4-8406-2078-9  
 A5判 400頁 本体10,000円



大和政権は日本列島をどのように支配したのか。古墳から飛鳥時代に、地方支配の中核を担った国造制と部民制に注目し、大和王権による列島支配の実態を、15本の論考と3本のコラムで解明する。史料編として、部民制・伴造制の文献目録・関連史料集を付す。好評『国造制の研究』に続く第二弾。(2017.10)



篠川賢・大川原竜一・鈴木正信編著

**国造制の研究**—史料編、論考編—

こくぞうせいのかんきゅう

ISBN978-4-8406-2078-9

A5判 720頁+CD1枚 本体18,000円



北は東北地方から南は九州地方まで、全国の有力豪族が任命された「国造」に関する史料を網羅。主要史料の「国造本紀」、最古写本「卜部兼永本」を底本とし影印掲載、諸写本により厳密な校訂を加えて翻刻。さらに、膨大な研究史をまとめ、論考13本を収録した、国造制研究の到達点。(2013.5)

河内春人著

**日本古代君主号の研究**

にほんこだいくんしゅうごうのかんきゅう

ISBN978-4-8406-2602-6

A5判 480頁 本体9,000円



倭国王・天子・皇帝など「天皇」以外の称号は何を意味するのか？ 中国との外交交渉で名のつた称号を手がかりに、古代天皇制の成立を明らかにする。倭王武=雄略天皇という通説の再検討、天智朝「称制」の意味などの諸問題に一石を投じる。中世以後の君主号、国号成立に関連するコラム4本も収録。(2015.2)

氣質澤保規編

**遣隋使がみた風景** 東アジアからの新視点

けんずいしがみたふうけい

ISBN978-4-8406-2035-2

A5判 452頁 本体3,800円



遣隋使の謎に迫るはじめての書。遣隋使は7世紀のはじめに、当時の中国王朝隋に6回の使節があったとされるが、この使節の回数にも諸説あり確定していない。東洋史を中心に日本古代史、考古学の研究者による学際研究から遣隋使を再検討。特に韓国、中国等東アジアの最新成果を踏まえた待望の書。(2012.2)

中村太一著

**日本古代の都城と交通**

にほんこだいのとじょうとうこうつう

ISBN978-4-8406-2241-7

A5判 704頁 本体9,800円



列島古代の交通や流通を分析し、人・モノ・情報が集中する都城のシステムと古代社会を解明。150点にのぼるイラスト・地図などの図表で、都城や条里・市の復原、道路の変遷や船の操作方法などを図示。電子地図を用いた国土座標値の計測やネットワーク分析、人工衛星観測データの活用など、新法を導入。(2020.10)

佐々木虔一・笹生衛・菊地照夫編

**古代の交通と神々の景観**—港・坂・道—

こだいのこうつうとかみがみのけいかん

ISBN978-4-8406-2263-9

A5判 560頁 本体8,500円



地方の社会・交通が生み出す祭祀の景観を復元。港湾、坂・峠・境界、道路の三施設に注目、文献史学・考古学・日本文学など多様な切り口で日本古代の交通と祭祀の実態に迫る。環境・災害・地域社会という時代の大きな流れの中で、新たな神まつりが生じていく過程を描写。(2023.5)

佐々木虔一・川尻秋生・黒濱和彦編

**馬と古代社会**

うまとこだいしゃかい

ISBN978-4-8406-2247-9

A5判 568頁 本体8,000円



【2021年度JRA賞馬事文化賞特別賞受賞。好評につき重版】馬はどのように渡来し、社会に浸透したのか。馬文化の渡来、生産・飼育、交通、祭祀、儀式など、古墳時代から摂関期まで、日本考古学・文献史学を中心に、動物考古学、日本文学など、隣接する諸分野と多角的に検証。(2021.5)

佐々木虔一・武廣亮平・森田喜久男編

**日本古代の輸送と道路**

にほんこだいのゆそうとどうろ

ISBN978-4-8406-2224-0

A5判 402頁 本体9,000円



道路が結びつける人の移動、モノの輸送、情報の伝達に注目し、古代社会を具体的・立体的に復元。防人・役夫を統率した部領使、自弁で都城に向かう運脚夫、遣唐使船の乗組員など移動する人々の実像や、交通を支えたインフラ（道路・橋・溝）の整備等、古代社会の根幹を支えた交通体系の具体像を示す！(2019.5)

鈴木靖民・吉村武彦・加藤友康編

**古代山国の交通と社会**

こだいやまぐにのこうつうとしゃかい

ISBN978-4-8406-2206-6

A5判 408頁 本体8,000円



山岳地域を生きた古代人の交流を探る！ 周囲を山地で閉鎖されながら活発かつ多様な交流を続けた古代の交通と、それにより形成される地域社会の編成、交通を基礎づけた古代国家による交通路の設定と政治的編成を解明。【目次】I 総論—山国の世界／II 交通の諸相／III 生業と信仰／IV 山国の政治学／コラム (2013.6)

古代交通研究会編

**〔OD版〕日本古代道路事典**

にほんこだいどうろじてん

ISBN978-4-8406-3476-2

A4判 448頁 本体12,000円



歴史地理学、文献史学の成果はもちろん、全国各地で続けられている考古学の発掘調査をふまえ、交通関連遺構に関する最新の研究成果を、各地の調査担当者が書き下ろし執筆。古代交通関係の遺跡を網羅し一覧。多数の図を収録し、全国の道路遺跡や研究状況を総合的に把握できる事典。(2004.5)

横道雄著

**上皇と法皇の歴史**—仙洞年代記—

じょうこうとほうおうのれきし せんどうねんだいき

ISBN978-4-8406-2250-9

A5判 556頁 本体15,000円



歴代の上皇と法皇の歴史を解説した年代記。院政時代の平安後期から院政形態の全体像を平易に略述してある。明治時代の旧「皇室典範」により永遠に廃止されたと思われた「上皇」復活に触発されて執筆したものである。天皇号成立以後の歴代天皇の推移を、同時代史料で追いつながら、そのなかで上皇・法皇の姿を述べている。(2021.12.22)

古代交通研究会編

## C D版 古代交通研究 1~6号

こだいこうつうけんぎゅう

ISBN4-8406-2080-6

CD1枚 954頁 本体20,000円



入手困難のバックナンバーを複製。研究史上重要な業績を残しながら長らく品切だった創刊号から第6号の全6冊をCD1枚に収録。全954ページを記事単位のPDF画像ファイルで収録。1論文を1ファイルとし、1クリックで1論文を最終ページまでプリントできる。著者名索引・書名索引付き。(2006.12)

古代交通研究会編

## 古代交通研究

こだいこうつうけんぎゅう

第7号 (1997.11)

ISBN4-8406-2063-6

B5判 198頁 本体4,500円

第8号 (1998.12)

ISBN4-8406-2064-4

B5判 180頁 本体4,500円

第9号 (2000.1)

ISBN4-8406-2065-2

B5判 176頁 本体4,500円

第10号 (2001.2)

ISBN4-8406-2066-0

B5判 160頁 本体4,500円

第11号 (2002.3)

ISBN4-8406-2067-9

B5判 184頁 本体5,000円

第12号 (2003.5)

ISBN4-8406-2068-7

B5判 140頁 本体5,000円

第13号 (2004.5)

ISBN4-8406-2069-5

B5判 164頁 本体5,000円



【第7号目次】《共同研究 律令国家と古代道一駅路・伝路の成立》律令制形成期の往来と道制(鍾江宏之) / 古代伝路の復原と問題点(木本雅康) / 古代道路遺構の形態からみたその性格(近江俊秀) / 七道制と駅馬・伝馬(永田英明) 他

【第8号目次】《共同研究 民衆と交通》地方交通の諸相(鈴木景二) / 古代東国村落の造り道(田形孝一) / 大嶋郷と交通(谷口榮) / 古代荘園図に描かれた道について(山口英男) 他

【第9号目次】絵図・地図のなかの交通(青山宏夫) / 多賀城方格地割と交通(山中章) / 高知県香美郡野市町下 / 坪遺跡とその遺構について(森公章) / 古代駅伝路における道代の幅員について(吉本昌弘) / 日向峠越ルートについて(瓜生秀文) / 他

【第10号】待望の「道路調査ハンドブック」誕生! 諸資料に見る古代道路の痕跡からその認定方法を提示 [目次] 古代道路研究の現況(木下良) / 古代道を探す(関和彦) / 絵画史料にあらわれた道路(藤原良章) / 地理資料にあらわれた古代駅路(中村太一) / 道路遺構の変遷—規模と構造の問題を中心として—(近江俊秀) / 道路遺跡の構造(山村信栄) / 道路遺跡の調査方法(中山晋) 他

【第11号目次】《共同研究報告 国司の旅》東国の国司と交通(川尻秋生) / 地方官の交通と伝馬制(松原弘宣) / 歌謡から見た国司巡行の実態(森田喜久男) / 出土文字資料からみた地方の交通(平川南) 他

【第12号目次】《共同研究報告 西海道の古代道》 / 西海道における古代官道研究史—歴史地理学の立場から—(木本雅康) / 南九州の古代交通(永山修一) / 佐賀平野の官道と官衙(小松讓) / 南九州の道路の事例について(渡部徹也) / 大宰府周辺の古代道(小鹿野亮) / 西海道の古代交通(木下良) 他

【第13号目次】《共同研究報告 古代の車》日本古代における交通・輸送と車(加藤友康) / 車と駕籠一乗り物をめぐる意識変化—(佐多芳彦) / 描かれた道・橋・車(井上尚明) / 平安京・京都の道路と車(上村和直) / 大和出土の車輪と轆(橋本輝彦) 他

甲田利雄著

## 〔OD版〕平安朝臨時公事略解

へいあんちょうりんじくじりやくかい

ISBN978-4-8406-3613-1

A5判 380頁 本体12,000円



平安朝時代の主だった臨時公事について解説。『新儀式』『西宮記』『北山抄』『江家次第』『侍中群要』『柱史抄』等の諸書より、主要な項目を拾い、従来比較的解説されることの少なかった事項に重点を置いて解説。『年中行事御尊子文注解』と本書共通の索引付。(2015.11)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

## 改訂新版 日本古代木簡字典

にほんこだいもっかんじてん

ISBN978-4-8406-2077-2

B6判 240頁 本体2,500円



日本古代の木簡から文字を直接採用した初めての字典。新たに7世紀木簡の字も追加するなど、新編集で大幅に改訂増補。デジタル化した木簡画像から一文字ずつ抽出し、強調処理を施したため、鮮明で見やすい文字となっている。また、字形の簡便な検索を主眼とした実用的で使いやすい索引を付した。(2013.4)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

## 藤原宮木簡 三

ふじわらきぎゅうもっかん3

ISBN978-4-8406-2087-1 図版B4判 74プレート

+解説A5判 252頁 本体19,000円



藤原宮跡の東面北門付近より出土した木簡611点を原寸大で高精細影印! 詳細な解説・釈文を付し初公開。宮内省・中務省とその被官官司にかかわる木簡が多く、文書木簡や、王家との深い関連が見て取れる記載に富む。大宝律令成立前後の律令国家成立史を考える上で極めて重要な意味をもつ史料群である。(2012.4)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

**平城宮木簡七**

へいじょうきゅうもっかん7

ISBN978-4-8406-2045-1 図版B4判 182ページ  
ト＋解説A5判 552頁 本体29,000円

平城宮の中樞部である第一次大極殿院周辺より出土した木簡1617点を原寸大で高精細影印！ 詳細な解説・釈文を付し、38年間（1965～2002）にわたる発掘成果を初公開。平城遷都直後から奈良時代末期までの70年に及ぶ多彩な取録木簡は、古代8世紀の歴史、社会、文化の研究に必備の基本史料。（2010.4）

西本昌弘校訂

**新撰年行事**

しんせんねんちゅうぎょうじ

ISBN978-4-8406-2043-7  
A5判 264頁 本体10,000円

平安中期の公卿、藤原行成が著した幻の書「新撰年中行事」を、東山御文庫本の調査で発見された原本により精確に翻刻。新出史料の全貌を公開。同時期に成立した年中行事書「小野宮年中行事」などと比べて3倍もの圧倒的な行事項目数を誇る等、知られていなかった平安時代中期の実態を知る貴重本。（2010.8）

渡辺滋著

**古代・中世の情報伝達**文字と音声・  
記憶の機能論

こだい・ちゅうせいのじょうほうでんたつ

ISBN978-4-8406-2053-6  
A5判 450頁 本体10,000円

古代・中世社会を動かしたは文書ではなく音声だった！ 「音声」で伝達された情報を文献から抽出、「文書による国家支配が徹底していた」という古代史の常識を覆す。帳簿、議状や偽り文書などの史料から「音声」を復原するという新しい切り口で再検討、音声と文字とが併存して補い合った実態を示す。（2010.10）

中村友一著

**日本古代の氏姓制**

にほんこだいのしせいせい

ISBN978-4-8406-2060-9  
A5判 336頁 本体9,800円

「氏姓」に残された日本古代の姿を解明！ 戦後に華族制度が廃止されるまで日本人の出自意識に影響を与えた氏姓の根源を探る。氏姓の制度＝「氏姓制」は、天皇による支配のために6世紀初頭に成立した日本独自の制度であったことを論証。（2009.5）

三船温尚・奥健夫編

**国宝 蟹満寺釈迦如来坐像**古代大型金銅  
仏を読み解く

こくほう かにまんじしゃかによらいざざう

ISBN978-4-8406-2083-3  
A4判 248頁 本体25,000円

白鳳から天平にかかる数少ない古代大型金銅仏はいつどうやって造られたか。薬師寺像との先後関係など、仏教美術史に再検討を促す、彫刻史上の傑作のなぞに迫る。仏教美術史、鑄造技術史、金属材料学、考古学、年代測定、3次元レーザー計測、蛍光X線成分分析など、700点の図版をまじえ多角的に調査。（2011.12）

小右記講読会発行（黒板伸夫監修・三橋正編）

**『小右記』註釈**

長元四年(1031)

しょうゆうきちゅうしゃく

ISBN978-4-8406-2032-1  
A5判 2冊組 1508頁 揃本体24,000円

右大臣藤原実資の日記『小右記』のうち、長元4年分に書下し文と詳細な註釈を付し刊行。同年の『左経記』書下し文も併録する。両書とも、写本からの厳密な翻刻を行ない、その原文を付ける。詳細な註釈と解説を施し、それらの語句は索引で引くこともでき、『古記録語辞典』としての利用価値も大きい。（2008.9）

逢日出典著

**八幡宮寺成立史の研究**

はちまんぐうじせいりつしのけんきゅう

ISBN4-7971-0740-5  
A5判 474頁 本体12,000円

古代より、ほぼ奈良時代の豊前国宇佐における八幡宮寺の成立に関し、先行研究を踏まえ、諸史料を博搜して問題点を考察する。著者は、現地踏査を繰り返し、伝承や文献の内容を分析し、原初信仰・八幡神顕伝承の系統分析と変遷を中心に八幡宮寺の成立について4編12章の構成に基づき考察を加える。（2003.3）

佐野大和著

**呪術世界と考古学**

じゅじゅつせかいとこうがく

ISBN4-7971-1504-1  
A5判 456頁 本体8,252円

大場磐雄博士が開拓・体系づけた神道考古学は、古代社会の習俗の復元と、その習俗の基底をなす古代日本人の信仰の研究を目的とする。本書とは、大場博士の研究を一步進め、縄文・弥生以来の古代の習俗・信仰の中から醸成された古代神道生成の過程を考古学的に追求する論文24編を所収。（1992.7）

米田雄介著

**歴代天皇の記録**

れきだいてんのうのきろく

ISBN4-7971-0484-8  
B6判 226頁 本体1,748円

平安時代の宇多天皇から江戸時代末の孝明天皇までの歴代天皇の記録について書誌的な立場から概説する。あわせて明治天皇紀の附図の制作に関するものを整理した。長年宮内庁書陵部に在職し、皇室の研究に従事された著者ならではの解説。古代から近代にいたる天皇家の記録に関する入門書として最適。（1992.5）

甲田利雄著

**年中行事御障子文注解**

ねんじゅうぎょうじごしょうじもんちゅうかい

ISBN4-7971-0525-9  
A5判 424頁 本体10,000円

光孝天皇の仁和5年（885）に太政大臣藤原基経によって献ぜられたという『年中行事御障子文』に基づき、平安期の公事関係書をはじめ広く諸文献を検証して、平安期の恒例の公事の本源ならびにその実態を解明した。平安文学・平安時代史研究の手引書。（1976.3）

## 中世

\* [OD版] = オンデマンド版(受注生産)並製・カバー装

岩橋小弥太・齋木一馬・黒川高明・厚谷和雄校訂  
**園 太 曆**

えんたいりやく

全8冊・既刊①-⑦

A5判 平均427頁、揃2,986頁

①~④各巻本体13,000円、⑤~⑦各巻本体8,000円

揃本体76,000円

①ISBN978-4-8406-3001-6 本体13,000円(1970)[OD版]

②ISBN978-4-8406-3002-3 本体13,000円(1971)[OD版]

③ISBN978-4-8406-3003-0 本体13,000円(1971)[OD版]

④ISBN978-4-8406-3004-7 本体13,000円(1971)[OD版]

⑤ISBN4-7971-0314-0 本体8,000円(1973)

⑥ISBN4-7971-0355-8 本体8,000円(1985)

⑦ISBN4-7971-0356-6 本体8,000円(1986)



南北朝時代、北朝の重鎮として太政大臣に任じ、武家の推尊も受け、南朝の厚き信望をもなった洞院公賢(1291-1360)の日記。動乱の世相と政局の機微を描いて精彩に富み、古来名記の一つに数えられる。公賢は、学殖においても当代に並ぶ者なく、古典・旧規に通じ、その著述は、故実典礼の典拠とされている。本記は、現存する正記に新出写本、逸文等を加え、現段階での『園太曆』本文の完璧を期するもの。新刊の巻五以降は史料纂集古記録編(本図書目録20頁参照)所収。

【収録】①1311〔応長元〕~1346〔貞和2〕・洞院系図

②1346〔貞和2〕~1348〔貞和4〕

③1349〔貞和5〕~1351〔観応2〕

④1351〔観応2〕~1354〔文和3〕

⑤1355〔文和4〕~1356〔延文元〕

⑥1357〔延文2〕~1359〔延文4〕

⑦1360〔延文5〕~1311〔応長元年正記園太曆目録〕

**満 濟 准 后 日 記**

まんざいじゅごうにつき

全2冊・完結

続群書類従補遺1上下

揃1,206頁

〔オンデマンド版〕A5判 揃本体19,000円

〔通常版〕B6判 揃本体10,000円

(上) 544頁

〔OD版〕ISBN978-4-8406-3213-3 本体9,000円(2013)

〔通常版〕ISBN4-7971-0110-5 本体5,000円(1928)

(下) 662頁

〔OD版〕ISBN978-4-8406-3214-0 本体10,000円(2013)

〔通常版〕ISBN4-7971-0111-3 本体5,000円(1928)



室町時代黒衣の宰相と称された満濟の応永18年(1411)から享享7年(1435)の日記。満濟は権大納言今小路師冬の子で、後に室町将軍家足利義満の猶子となり、醍醐寺三宝院賢俊の室に入つて得度した。応永2年醍醐寺座主に補してより東寺長者・四天王寺檢校を歴任し、この間法印に叙し、大僧正に任じ、応永35年には准后の宣下をうけている。満濟は賢俊の後をうけて室町将軍家に重用され、特に義持・義教の信任あつて、政務についてしばしば重要な献策をし、その権威は甚だ高かった。したがって本日記は単なる僧侶の日記というよりも、むしろ室町時代初期に於ける幕府側近者の日記の観があり、長年時に亘るその詳細にして正確な記事は政治史研究の重要資料として著名である。

【収録】(上) 1411〔応永18〕~1428〔正長元〕

(下) 1429〔正長2〕~1435〔永享7〕

満濟准后日記研究会編

**満 濟 准 后 日 記 人 名 索 引**

まんざいじゅごうにつき じんめいさくいん

ISBN978-4-8406-2074-1

A5判 440頁 本体11,000円



室町期研究の基本史料『満濟准后日記』(続群書類従本)の人名索引。本文の講読から20数年の歳月をかけ、可能な限り人名の考証と比定を行い、異称・別称の類もすべて採録した。本索引により、本文に記載のある、知りたい人物を即座に検索可能になった。中世史を研究するすべての人に贈る待望の索引! (2010.12)

**看 聞 御 記**

かんもんぎょき

全2冊・完結

続群書類従補遺2上下

B6判 揃1,386頁

〔OD版〕A5判 揃本体22,000円

〔通常版〕B6判 セット品切

(上) 628頁

〔OD版〕ISBN978-4-8406-3215-7 本体10,000円(2013)

〔通常版〕【品切】

(下) 758頁

〔OD版〕ISBN978-4-8406-3216-4 本体12,000円(2013)

〔通常版〕ISBN4-7971-0113-X 本体5,000円(1930)



後崇光院貞成親王の応永23年(1416)から文安5年(1448)の日記。記主は崇光院の皇孫栄仁親王の第二子で、幼少の頃は今出川公直に養育された。後、元服と同時に伏見宮に戻り、応永24年兄治仁王の急死の後をうけ伏見宮家第三代の主となっている。又、同32年4月後小松上皇の猶子として親王宣下を受けたが、7月俄に出家し道欽と号した。正長元年称光天皇の崩御に当り、親王の第一子彦仁王が位につき後花園天皇となり、文安4年天皇の実父ということで太上天皇の尊号をうけている。かくして、本記は記主の日常生活についてはもちろん、後花園天皇踐祚に関する朝廷の動き、足利義教の肅清政治の様子、嘉吉の乱等朝幕を中心とする政局の動きを記し、また世間の巷説、市井の出来事、種々の芸能に関する記事等も豊富で当代の政治・文化・庶民生活等に関する貴重な史料となっている。

【収録】(上) 1416〔応永23〕~1431〔永享3〕

(下) 1432〔永享4〕~1448〔文安5〕

高橋隆三校訂／書名索引：土井哲治編

**実 隆 公 記**

さねたかこうき

A5判 平均415頁、揃8,300頁

各巻本体9,000円

書名索引のみ本体12,000円

揃本体183,000円

ISBN4-7971-

- ①上-0431-7 (1931.8) / ①下-0432-5 (1931.8)  
 ②上-0433-3 (1932.5) / ②下-0434-1 (1932.5)  
 ③上-0435-X (1933.8) / ③下-0436-8 (1933.8)  
 ④上-0437-6 (1935.12) / ④下-0438-4 (1935.12)  
 ⑤上-0439-2 (1938.12) / ⑤下-0440-6 (1938.12)  
 ⑥上-0441-4 (1961.6) / ⑥下-0442-2 (1962.12)  
 ⑦-0443-0 (1957.3) / ⑧-0444-9 (1958.3)  
 ⑨-0445-7 (1967.5) / ⑩-0446-5 (1959.3)  
 ⑪-0447-3 (1959.3) / ⑫-0448-1 (1962.3)  
 ⑬-0449-X (1963.3) / 書名索引-0730-8 (2000.6)



全20冊・完結

三条西実隆(1455-1537)の日記。文明から応仁の乱を経、天文の頃にいたるまで、戦国争乱のさなかにおける政治・社会の動静、公家文化とその地方浸透などに関する室町後期の根本史料。また本記を通して、実隆の深い教養が公卿・武家の社会に重んじられた事情が窺われる。さらに淀の魚市や関所の濫置、土一揆の蜂起等、社会経済史の記事も豊富に記載されている。

## 【収録】

- ①上 1474 [文明6]～1479 [文明11]  
 ①下 1480 [文明12]～1487 [長享元]  
 ②上 1487 [長享元]～1489 [延徳元]  
 ②下 1490 [延徳2]～1494 [明応3]  
 ③上 1495 [明応4]～1496 [明応5]  
 ③下 1497 [明応6]～1501 [文亀元]  
 ④上 1502 [文亀2]～1505 [永正2]  
 ④下 1505 [永正2]～1507 [永正4]  
 ⑤上 1508 [永正5]～1510 [永正7]  
 ⑤下 1510 [永正7]～1522 [大永2]  
 ⑥上 1523 [大永3]～1525 [大永5]  
 ⑥下 1525 [大永5]～1526 [大永6]  
 ⑦1527 [大永7]～1529 [享禄2]  
 ⑧1529 [享禄2]～1533 [天文2]  
 ⑨1534 [天文3]～1536 [天文5別記・補遺]  
 ⑩1474 [文明6]～1489 [長享3紙背文書]  
 ⑪1489 [延徳元]～1499 [明応8紙背文書]  
 ⑫1501 [文亀元]～1506 [永正3紙背文書]  
 ⑬1506 [永正3]～1522 [大永2紙背文書]

書名索引

**お湯殿の上の日記**

おゆどのうえのにつき

続群書類従補遺3(一)～(十一)

平均468頁、揃5,148頁

【オンデマンド版】A5判 揃本体85,000円(2013)

ISBN978-4-8406-

- ①-3217-1 本体9,000円 / ②-3218-8 本体8,000円  
 ③-3219-5 本体7,000円 / ④-3220-1 本体9,000円  
 ⑤-3221-8 本体6,000円 / ⑥-3222-5 本体9,000円  
 ⑦-3223-2 本体7,000円 / ⑧-3224-9 本体7,000円  
 ⑨-3225-6 本体9,000円 / ⑩-3226-3 本体9,000円  
 ⑪-3227-0 本体5,000円

〔通常版〕B6判 揃本体50,000円(1957-1966)

ISBN4-7971-

- ①-0114-8 本体5,000円 / ②-0115-6 本体5,000円  
 ③-0116-4 本体4,000円 / ④-0117-2 本体5,000円  
 ⑤-0118-0 本体4,000円 / ⑥-0119-9 本体5,000円  
 ⑦-0120-2 本体4,000円 / ⑧-0121-0 本体4,000円  
 ⑨-0122-9 本体5,000円 / ⑩-0123-7 本体5,000円  
 ⑪-0124-5 本体4,000円



全11冊・完結

宮廷記録の一つで禁中御湯殿上の間で、天子近侍の女官が記した当番日記。後土御門天皇文明9年(1477)より霊元天皇貞享4年(1687)まで、主上の動静を主として、恒例・臨時の行事、任官・叙位・遊宴・御会・御料進献・将軍以下参内の様子を記し、時に女官の動静を記し、御湯の当番、移動・新任などをも記している。室町時代以後の史料として重要であることは言うまでもないが、皇室史の史料としては第一におかれるべきものとなっている。

## 【収録】①1477 [文明9]～1487 [長享元]

- ②1488 [長享2]～1496 [明応5]  
 ③1497 [明応6]～1531 [享禄4]  
 ④1532 [天文元]～1545 [天文14]  
 ⑤1546 [天文15]～1557 [弘治3]  
 ⑥1558 [永禄元]～1569 [永禄12]  
 ⑦1570 [元亀元]～1582 [天正10]  
 ⑧1583 [天正11]～1595 [文禄4]  
 ⑨1598 [慶長3]～1644 [寛永21]  
 ⑩1675 [延宝3]～1687 [貞享4]  
 ⑪1500 [明応9]～1625 [寛永2]

辻善之助校訂

**鹿 苑 日 録**

ろくおんにちろく

A5判 平均411頁、揃2,876頁

各巻本体10,000円

【在庫僅少】

ISBN4-7971-

- ①-0503-8 (1934.6) / ②-0504-6 (1934.10) 【品切】  
 ③-0505-4 (1935.5) / ④-0506-2 (1935.10)  
 ⑤-0507-0 (1936.8) / ⑥-0508-9 (1937.6)  
 ⑦-0509-7 7索引 総索引(1962.5)



全7冊・完結

本書は、相国寺鹿苑院歴代の僧録の日記約70余冊を大略年代順に編次したものである。長享元年(1487)から慶安4年(1651)に至る165年に及ぶ日記に文書案・漢詩集などを含む。年代的には『蔭涼軒日録』を継承するものである。鹿苑院院主は、僧録司の職に補せられる慣例であったから、室町時代の禪院に関する好資料であるにとどまらず、将軍の動静、幕府の内事を漏らすものが少なくない。当時の政治・文芸の好史料。詳細索引付。

高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂

# 言 継 卿 記

とぎつぐきょうき

全6冊・完結

A5判 平均486頁、揃2,916頁 各巻本体13,000円

- ①ISBN978-4-8406-3053-5 440頁 (1966.5) 【OD版】  
 ②ISBN978-4-8406-3054-2 496頁 (1972.1) 【OD版】  
 ③ISBN978-4-8406-3055-9 780頁 (1998.1) 【OD版】  
 ④ISBN978-4-8406-3056-6 554頁 (1998.12) 【OD版】  
 ⑤ISBN978-4-8406-3057-3 318頁 (1965.9) 【OD版】  
 ⑥ISBN978-4-8406-3058-0 328頁 (1967.11) 【OD版】



権大納言山科言継(1507-1579)の日記。大永7年(1527)、言継20歳の時から、薨去の直前、70歳の天正4年(1576)12月まで、前後50年にわたる。戦国時代を中心とする時期の日記として、本記ほどまとまったものは他にない。山科家が内蔵寮を管していたところから、皇室の経済に関することはとくに詳しく、また、文学・芸能・医学などの記事や武将との交渉の記事等、当時の世相を知る重要資料。紙背文書は『史料纂集』古文書編に収録(本図書目録32頁参照)。

甲田利雄著

# 校本江談抄とその研究

こうほんごうだんしょうとそのけんきゅう 全3冊・完結

A5判 平均529頁、揃1,586頁

揃本体39,000円

各巻本体13,000円

- (上) ISBN4-7971-0621-2 (1987.3)  
 (中) ISBN4-7971-0622-0 (1989.3)  
 (下) ISBN4-7971-0623-9 (1988.2)



大江匡房(1041-1111)は、後三条・白河・堀河・鳥羽の四朝に仕えた平安末期の碩儒である。『江談抄』は、匡房の談話を藤原実兼が筆記したもので、故事や世間の事をするしたもので後世の説話文学に多大な影響を与えた。本書は、上巻(類従本表題一覧・水言抄目録・本文並びに考説巻1~4)・中巻(本文並びに考説巻5~6・補遺・索引)・下巻(論述編・水言抄の江談本文の写し・前田本江談抄の写し・江談抄所載人名略伝)の3冊を刊行する。本書は、『江談抄』の成立・内容・本文・諸本について諸先学の研究成果をふまえ、改めて諸問題を提起し、その解明の端緒とならんとするものである。

瀬野精一郎・村井章介編

# 松浦党関係史料集

まつうらとうかんけいしりょうしゅう 全6冊・既刊①-⑤

A5判 平均317頁、揃1,584頁

①③各巻本体9,000円 ②【品切】

④本体15,000円 ⑤本体18,000円

- ①ISBN4-7971-0632-8 288頁 (1996.8)  
 ②ISBN4-7971-0633-6 294頁【品切】(1998.9)  
 ③ISBN4-7971-0634-4 296頁(2004.3)  
 ④ISBN978-4-8406-2034-5 326頁(2009.4)  
 ⑤ISBN978-4-8406-2243-1 380頁(2020.4)



肥前国松浦地方に土着繁栄した武士集団、松浦党に関する残存史料を集大成し、平安から南北朝動乱の終結に至るまでの約400年間の松浦党の変遷を知り得る約700点の関係史料を収録し、編年順に編纂刊行する。第4以降は、海外史料も所収し、松浦党研究の一層の発展を期待するものである。

村田正志編

# 和訳花園天皇宸記

わやくはなぞのてんのうしんき 全3冊・完結

A5判 平均333頁、揃1,000頁

揃本体25,000円

①本体7,000円 ②③各巻本体9,000円

- ①ISBN4-7971-1551-3 (1998.10)  
 ②ISBN4-7971-1552-1 (2003.1)  
 ③ISBN4-7971-1553-X (2003.3)



史料纂集『花園天皇宸記』を底本としてこれを通読理解するために全文を訓読する。本書は、南北朝時代研究の大家村田正志氏の編により、難解であった『花園天皇宸記』の宮廷儀式等の故実訓みにルビを付し、的確に訓読する。史料纂集本と同じ構成とし、難読であった本書を身近に理解する絶好の手引書。

石清水八幡宮社務所編

# 石清水八幡宮史

いwashimizuhachimanguし 全8冊+別巻・完結

いわしみずはちまングうし

菊判 平均786頁、揃7,072頁

【セット品切】

①②⑤⑦⑧各巻本体15,000円／③④⑥各巻本体18,000円

ISBN4-7971-

- ①-0661-1 (1932.8) / ②-0662-X (1933.8)  
 ③-0663-8 (1934.4) / ④-0664-6 (1934.11)  
 ⑤-0665-4 (1935.7) / ⑥-0666-2 (1936.11)  
 ⑦-0667-0 (1936.5) / ⑧-0668-9 (1937.12)  
 別巻-0669 (1939.8)【品切】



昭和14年に28年を要して出版完了した石清水八幡宮史を再刊。別巻に石清水社の略史・編年史・祠官系図を収め、第1~8輯には、本宮に関係ある重要史料を、鎮座編以下崇敬編にいたる11項目に分類し、編年集したものである。本宮に伝存する文書を根幹にして、公家・武家他の関係史料を収録。

①鎮座・祭神・神体・鹽宮鑿剣・社殿・寺塔編／②祭祀編上／③祭祀編下／④怪異・祠官編／⑤社領編上／⑥社領編下／⑦崇敬編上／⑧崇敬編下／別巻 石清水八幡宮略史・編年史・祠官系図

石清水八幡宮社務所編

**石清水八幡宮史料叢書**

いわしみずはちまんぐうしりょうそうしょ 全5冊・完結

A5判①ISBN4-7971-0671-9

本体15,000円【在庫僅少】②・⑤【品切】



石清水八幡宮に伝存する古文書・古記録を内容により分類、収録した叢書。内容は本社の男山を中心とするあらゆる古跡・事物・行事について、その由来変遷を詳述したものである。本書全5冊は昭和35年に15年をかけて出版完了したもので、重要必見の史料でありながら、かつて市販されたことはない。(1960.8)

村田正志・石川晶康・田中君於編

**続石清水八幡宮史料叢書**

ぞくいわしみずはちまんぐうしりょうそうしょ 全4冊・既刊①・③

A5判 平均313頁、揃938頁

既刊3冊本体24,000円

各巻本体8,000円【残部僅少】



本書は・天下第二の宗廟・とされる石清水八幡宮に伝存されている、平安～江戸末期に及ぶ、質量共に神社界では最高にして最大級の古文書・古記録群の目録である。第1・2巻には大田中文書目録を、第3巻には菊大路家文書目録を収録し、併せて重要・貴重文書の写真を掲載し、研究者の便宜を計るものである。

①田中文書目録1 ISBN4-7971-1005-8 (1985.12)

②田中文書目録2 ISBN4-7971-1006-6 (1996.10)

③菊大路家文書目録 ISBN4-7971-1007-4 (1988.6)

詫間直樹編

**新皇居行幸年表**

しんこうきょぎょうこうねんびょう

ISBN978-4-8406-2258-5

A5判 624頁 本体11,000円



天皇の皇居・行幸一覧の決定版、25年ぶりの増補改訂！神武天皇から幕末の孝明天皇まで、歴代天皇の居所、移徙・行幸先を編年で提示。『皇居行幸年表』（統群書類従完成会、1997年）所収部分（桓武～後醍醐天皇）は新出史料情報を追加するなど増補改訂。天皇の移動を通史的に把握できる必携の座右の書。(2022.4)

横道雄著

**上皇と法皇の歴史—仙洞年代記—**

じょうこうとほうおうのれきし せんとうねんだいき

ISBN978-4-8406-2250-9

A5判 556頁 本体15,000円



歴代の上皇と法皇の歴史を解説した年代記。院政時代の平安後期から院政形態の全体像を平易に略述してある。明治時代の旧「皇室典範」により永遠に廃止されたと思われた「上皇」復活に触発されて執筆したものである。天皇号成立以後の歴代天皇の推移を、同時代史料で追いつながら、そのなかで上皇・法皇の姿を述べている。(2021.12.22)

永井 晋編

**鎌倉僧歴史典**

かまくらそうれきじてん

ISBN978-4-8406-2038-3

A5判 344頁 本体12,000円



【好評につき重版】武家の都・鎌倉で活動した鎌倉時代の僧侶949名の経歴を知る人名事典。中世鎌倉を知るための必携の書。僧侶それぞれについて生没年、家族、法流、本文、寺院、通称の順に記載。再検証ができるように、引用史料の典拠を掲げた。解説・索引を完備、鎌倉密僧を知る入門ガイドも掲載。(2020.5)

久水俊和著

**中世天皇家の作法と律令制の残像**

ちゅうせいてんのうせいのさほうとりりょうせいのざんざう

ISBN978-4-8406-2239-4

A5判 400頁 本体7,000円



中世に残された古代律令制の実像とは？ 朝廷と室町幕府のあらたな関係を提示。天皇家の公事作法や神事・学芸に注目し、皇統確立の過程を明らかに。律令国家以来の太政官制が中世に機能していたことを論証。平安京大内裏跡の具体的な復原も試みる。皇統はどのように確立したのかについても論究。(2020.6)

高橋忠彦・高橋久子・古辞書研究会編

**尊経閣文庫本桂川地蔵記 影印・訳注・索引**

そんけいかくぶんこぼん かつらがわじざうき

ISBN978-4-8406-2086-4

B5判 352頁 本体20,000円



語彙を豊富に含んだ室町時代の武家の教科書として広く読まれた本書をカラーで新撮影し全文を影印。さらに索引（漢字・自立語）・訓み下し・現代語訳・注・解説を付す。飲食物・茶道具など、日常使われる語彙を挙挙、日本語・芸能・風俗・宗教など広く中世社会を知るための必携史料。(2012.5)

北条氏研究会編

**北条時宗の時代**

ほうじょうときむねのじだい

ISBN978-4-8406-2030-7

A5 864頁 本体18,000円



北条時頼・時宗父子の時代は、政治や文化の面で鎌倉時代の画期となるべき時代である。北条時宗とその時代について、現在までの研究史と問題の所在を明示し、その発給文書・一族・御家人・得宗被官等から当時の状況を明らかにする。北条氏研究会の気鋭の研究者13名による21論文を収録。(2008.5)

永井晋著

**金沢北条氏の研究**

かねざわほうじょうしのけんきゅう

ISBN4-8406-2025-3

A5 546頁 本体12,000円【美品なし】



精緻な史料研究、古文書の科学的分析等から鎌倉時代の政治史を大胆に再構築。初代実泰に始まり、金沢文庫の創始者実時から北条高時とともに幕府崩壊まで鎌倉幕府を支えた貞顕まで、鎌倉時代の政治・文化等を語る上での重要人物の金沢北条氏を総合的に検討した大著。日本中世史研究者必携の基礎文献。(2006.12)

## 近世文学

天理図書館編

天理図書館所蔵 春雨物語<sup>羽倉本・天理冊子本・西莊本一</sup>

てんりとしょかんしょどう はるさめものがたり

ISBN978-4-8406-9771-2

B5判 652頁 本体35,000円



従来まったく知られなかった上田秋成『春雨物語』の新出自筆稿本羽倉本を高精細カラー版で影印。併せて、影印未刊行であった天理冊子本(全57丁)および本文完備の西莊本を収録し(モノクロ網目版)、解題と羽倉本翻刻を付す。【解題】大橋正叔【羽倉本翻刻】牛見正和・大西光幸・大橋正叔 (2021.5)

滝沢馬琴著 木村三四吾他編

## 〔OD版〕吾仏乃記 滝沢馬琴家記

あがほとけのき たきざわばきんかき

ISBN978-4-8406-3598-1

A5判 746頁 本体23,000円



曲亭滝沢馬琴が、長年心にかけて自家累代の伝記を記し、家族親戚の行実を余すところなく記す。馬琴がその家、家族縁縁に対し、いかなる思いを抱き、いかに対処行動して来たかを十分に表明しており、馬琴研究には欠かせない一等資料。天理図書館に残る唯一の稿本を読み易く正確に翻刻。 (2015.11)

木村三四吾編

## 〔OD版〕近世物之本江戸作者部類

きんせいものほんえとさくしやぶるい

ISBN978-4-8406-3599-8

A5判 468頁 本体15,000円



滝沢馬琴が「蟹行散人」という筆名を用いて著した同時代の戯作者評伝。近世後期江戸戯作文学の各分野を部類し、山東京伝、大田南畝、十返舎一九、為永春水、鶴屋南北、平賀源内等々、馬琴自身を含め総計139名の作者を論評。影印本文、解題、索引、校勘記等を付す。 (2015.11)

新版色道大鏡刊行会編(大橋正叔・沖森卓也・倉島利仁・伴野英一・渡辺憲司)

## 〔OD版〕新版色道大鏡

しんばん しきどうおおかがみ

ISBN978-4-8406-3605-6

A5判 788頁 本体24,000円



近世風俗を知るための藤本箕山著の基本図書。風俗語を中心とした日本語、美学、仏教の受容、流行ファッション、遊戯・玩具、芸能、書道史等々、江戸前期の女性史を極めて具体的な事例から語る。人名索引と遊里語・近世語彙を含む事項索引を附す。 (2015.11)

永井一彰編(原本所蔵・解説)

## 誹諧短冊手鑑

はいかいたんざくてかかみ

ISBN978-4-8406-9695-1

A4判 474頁 本体35,000円



古筆の家に伝わった新出資料の全貌を初公開! 近世初期俳人756名、804枚の短冊を高精細カラーで影印、さらに裏書・作者情報も全て図版掲出。元禄以前の俳人の素性を伝える画期的資料。文字通り筆跡・短冊料紙の『手鑑』として、近世文学・俳諧・古筆研究者、短冊愛好家、古書店主、必携の書。 (2015.8)

人間文化研究機構 国文学研究資料館編

## 図説江戸の「表現」浮世絵・文学・芸能

ずせつ えどのひょうげん

ISBN978-4-8406-9689-0

B5判 352頁 本体12,000円



カラー・モノクロ図版230点から読み解く、日本文化の表現様式研究の第2弾。近世の日本人が好んだ表現様式と知的遊戯の豊かさを、多数の図版を掲出し、考察・解説する。「やつし」や「見立」など、浮世絵や俳諧、歌舞伎ではどのように表現されているか? 日本文化の発想法を知るために不可欠な論考を収録。 (2014.3)

人間文化研究機構 国文学研究資料館編

## 〔OD版〕見立と「やつし」日本文化の表現技法

図説 見立てやつし にほんぶんかのひょうげんぎほう

ずせつ みたててやつし

ISBN978-4-8406-3469-4

B5判 262頁 本体12,000円



「見立」はあるものを別のものになぞらえること、「やつし」は昔の権威あるものを現代風に卑近にして表すこと。共に文学・美術・芸能のジャンルを超えて存在する日本文化の特徴的表現様式。今回初めてそのさまざまな用例を考察した国文研のプロジェクトの成果をまとめた画期的一書。 (2008.3)

雲英末雄監修 佐藤勝明・伊藤善隆・金子俊之編

## 元禄時代俳人大観(全3冊)

げんろくじだいはいじんたいかん

ISBN978-4-8406-9680-7

菊判 1700頁+CD 1枚 ①本体12,000円/②③【品切】



【芭蕉祭文部科学大臣賞受賞】貞享元年(1684)から宝永4年(1707)までの俳書から入集した作者名と入集句数を網羅。大名から遊女まで、近世人が嗜んだ俳諧を知る目録。今柴威福「貞門談林俳人大観」の人名索引も収録、両書合計4万人収録。2つ々の人名索引に肩書を加えたCSVデータをCDで付録。 (2011.6-2012.3)

神田正行著

## 馬琴と書物 伝奇世界の底流

ばきんとしよもつ

ISBN978-4-8406-9676-0

A5判 784頁 本体15,000円



博覧強記で鳴らした曲亭馬琴の書翰・日記を丹念に読み解き、繙いた万巻の書物と創作の関わりを詳細に検証! 読本や合巻がどのような経緯で執筆されたかを解き明かす。『水滸伝』や『金瓶梅』をはじめ、『隔簾花影』『両交婚伝』『金蘭筏』『八洞天』、増刪本『二度梅』などの中国小説にも初めて言及。 (2011.8)



朝倉瑠嶺子著

馬琴椿説弓張月の世界半月の陰を追う

ばきん ちんせつゆみはりづぎのせかい

ISBN978-4-8406-9658-6

A5判 274頁 本体8,000円



八犬伝と双璧をなす馬琴代表作の深奥！ 雄大にして奇想天外、靈魂のあやなす馬琴独自の隠微世界を新たな視点で読み解く作品論。信多純一の重要論考「三島由紀夫『日本文学小史』と馬琴」を附載。三島独自の文学史に示された馬琴理解を検証し『弓張月』『八犬伝』の深層に肉薄する。(2010.2)

木越治編

## 講談と評弾 伝統話芸の比較研究

こうだんとひょうだん

978-4-8406-9675-3

A5判 144頁+DVD (映像120分) 本体3,600円



講談は落語と並ぶ日本の話芸である。中国の評彈も蘇州をはじめとする各地で愛されている大衆芸能であるが、日本ではあまり知られていない。両者の歴史的な経緯を比較し、その歴史と現状を読みやすくとまとめ、一流の演者による口演を映像として付録のDVDに収録。(2010.3)

佐藤勝明著

## 芭蕉と京都俳壇 蕉風胎動の延ばし・天和期を考える

ばしょうときょうとはいだん

ISBN4-8406-9638-1

A5判 362頁 本体9,800円【残部僅少】



芭蕉写を使い始めた天和元年(1681)、蕉風俳諧が誕生した！ 東西交流、特に京都俳壇との関係に着目し、談林俳諧の本質と意義をとらえなおすとともに、蕉風俳諧成立の問題に鋭く迫る。芭蕉の作品には延宝期(1673-81)と天和期(1681-84)の間に断層があり俳諧史の大きな転回点があったことを論証。(2006.1)

財団法人芭蕉翁顕彰会編

## 芭蕉翁 芭蕉文庫目録 書冊篇

ばしょうおうえんかん ばしょうぶんこもくろく しょさつへん

ISBN4-8406-0042-2

A5判 416頁 本体12,000円



伊賀上野市の芭蕉翁記念館芭蕉文庫所蔵の日本屈指の俳諧コレクションの目録待望の公開。書名・装丁・巻冊数・編者校者・序跋・成立事項・奥書・識語・注記・資料番号を正確に記載、巻末に書名索引・人名索引を付した使いやすい目録。(2005.1)

財団法人柿衛文庫編

## 柿衛文庫目録 書冊篇

かきもりぶんこもくろく しょさつへん

ISBN4-8406-0008-2

A5判 756頁 本体14,175円



綿屋文庫・酒竹文庫とならぶ日本屈指の俳諧コレクションの目録初公開。故柿衛翁岡田利兵衛氏が蒐集した連歌俳諧を中心とする資料のうち書冊形態の資料計3,050点。連歌177点・俳諧2,378点・雑俳87点・和歌83点・狂歌86点・雑239点について詳細書誌情報を正確に記載、書名索引・人名索引を付す。(1990.10)

財団法人柿衛文庫編

## 柿衛文庫目録 短冊篇

かきもりぶんこもくろく たんざくへん

ISBN4-8406-0011-2

A5判 400頁 本体13,000円



連歌から近代まで、柿衛翁岡田利兵衛氏蒐集の短冊を網羅。連歌、俳諧、和歌、狂歌など合計6,189点について作者名を見出しに掲げ、詳細書誌事項を採録した画期的目録。使いやすい作者名索引を巻末に付す。巻頭に豊富な図版(48点・アート紙)を掲載。「書冊篇」と併せて俳諧研究に必備の書。(1999.3)

大磯義雄著

## 芭蕉と蕉門俳人

ばしょうとしょうもんはいじん

ISBN4-8406-9608-X

A5判 600頁 本体12,000円



【第51回芭蕉祭文部大臣賞受賞】緻密な実証により芭蕉とその周辺を照射。博覧踏査に基づく新資料・新考を集大成。【目次抜粋】芭蕉発句の新出詞書など/芭蕉とその周辺の資料/芭蕉と塚本如舟/芭蕉の俳文「高野語」の異文/「奥の細道」の「そぞろ神」/奥の細道発句時の芭蕉の一書簡/他全46篇。(1997.5)

大磯義雄著

## 蕪村・一茶その周辺

ぶそん・いっさそのしゅうへん

ISBN4-8406-9613-6

A5判 474頁 本体12,000円



作家的洞察力で論究する多彩で豊かな俳諧史！ 天明・化政・天保俳人に関する伝記・随想・比較文学論等幅広い論考。【目次抜粋】第1部蕪村とその周辺 蕪村俳諧における『雨月物語』の影響について/評伝・与謝蕪村/蕪村-酒仙一/上田秋成は二人いた 第2部一茶と化政天保俳人 夏目成美/他 (1998.9)

浅見美智子編校

## 几董発句全集

きとうほくぜんしゅう

ISBN4-8406-9603-9

A5判 652頁 本体25,000円



俳句中興の祖、与謝蕪村の後継者で3世夜半亭、高井几董の全発句4,300余を宝暦5年(1755)から寛政元年(1789)まで、制作年代順に収録。脚注として各句に全出典を明示。適宜、頭注として句の略解題を付す。師蕪村や几董周辺の動向をも明らかにする詳細な年譜、三句・人名索引、引用書一覧を付す。(1997.6)

渡辺憲司著

## 近世大名文芸圏研究

きんせいだいみょうぶんげいけんけんきゅう

ISBN4-8406-9602-0

A5判 468頁 本体8,738円【美品なし】



各地に残る近世大名やその周辺の伝統的雅文芸資料を精査に読取り、支配階級の文化的営為とその文学史的関係づけを展開。【目次抜粋】松平定綱文芸圏とその周辺/山鹿素行と国文学/山鹿素行と浅野家致仕/佐川田昌俊と永井家/佐川田昌俊と連歌資料/加藤磐斎と板倉家/毛利綱元文芸関係略譜/他 (1997.2)

吉原の遊女評判記・細見を初めて集大成

**江戸吉原叢刊 (全7巻)**

えどよしわらそうかん

江戸吉原叢刊行会編

(2010.2～2012.12)

ISBN978-4-8406-3646-7 A5判 (⑦のみB5判)

平均508頁、総3,558頁

揃本体150,000円



近世文学・演劇・日本語・浮世絵・風俗史研究に不可欠な江戸吉原の「遊女評判記」を翻刻(第1巻～第6巻収録)。「吉原細見」(案内地図・妓郎名・遊女名)を影印(第7巻収録)。「遊女評判記」は原本の体裁を残して組み、挿図や遊女の紋をそのまま収録。近世語彙を含む事項索引などを付す他、遊女名・妓楼名など収めたCDを第6巻に付す。

第1巻 四十二のみめ争ひ・そゝろ物語・あづま物語・吉原鑑・吉原大全新鑑・吉原すゞめ・讃嘯記時之太皷・吉原よぶこ鳥・吉原天秤・吉原六方・ぬれほどけ

第2巻 吉原伊勢物語・吉原用文書・吉原こまざらい・吉原袖かゝみ・吉原失墜・吉原局惣鑑・吉原大雑書・山茶やぶれ笠

第3巻 吉原恋の道引・吉原人たばね・吉原歌仙・伽羅包・吉原あくた川・吉原下職原・吉原三茶三幅一對・吉原買もの調・吉原大豆俵評判・吉原酒でんとうじ

第4巻 吉原源氏五十四君・新吉原つねづね草・新改さいけん名寄評判・なよせ色竹・吉原草摺引・五太力菩薩手鏡・吉原大黒舞・吉原つれづれ草・吉原七福神

第5巻 糸にし染・直伝大尽舞・吉原丸鑑・傾城つれづれ草・吉原源氏六十帖評判・吉原出生鑑・吉原評判交代盤栄記・吉原大全・遊婦多数寄・里のをだ巻評・一目千本

第6巻 廓中美人集・百安楚飛・玉菊灯籠弁・嘯之画有多・おむなつ文章・かよふ神の講釈・傾城異見之規矩・媚妃地理記・娼家用文章・教訓相撲取草・吉原大鑑・つづれの錦他 【付:事項・語彙索引、および遊女名索引】

第7巻 細見 (B5判:影印版) 遊君女郎花(宝永6年)を始めとして、代表的細見を31点収録

**[オンデマンド版]**

①-⑥各巻本体20,000円、⑦本体30,000円

(ISBN978-4-8406は省略しました)

第1巻 元和期(1615)～寛文11年(1671)～3639-1(2017.10)

第2巻 寛文2年(1662)～延宝3年(1675)～3640-7(2017.10)

第3巻 延宝6年(1678)～貞享4年(1687)～3641-4(2017.10)

第4巻 元禄2年(1689)～正徳2年(1712)～3642-1(2017.10)

第5巻 正徳3年(1713)～安永3年(1774)～3643-8(2017.10)

第6巻 安永4年(1775)～慶応元年(1865)～3644-5(2017.10)

第7巻 宝永6年(1709)～明治5年(1872)～3645-2(2017.10)

【編集委員】大橋正叔・丹羽謙治・伴野英一・水谷隆之・渡辺憲司



連歌から俳諧へ、革新的詩人の全文業を集大成  
生誕400年を期して待望の全集初刊!

**西山宗因全集 (全6巻)**

にしやまそういんぜんしゅう

尾形昶・島津忠夫監修 西山宗因全集編集委員会編

(2004.9～2017.4)

ISBN4-8406-9660-8

A5判 平均476頁、総2,848頁

各巻本体18,000円



\* 第1巻 連歌篇 一 ISBN978-4-8406-3636-0(2004.9)

第2巻 連歌篇 二 ISBN978-4-8406-3650-6(2007.8)

第3巻 俳諧篇 ISBN4-8406-9663-2(2004.7)

第4巻 紀行・評点・書簡篇 ISBN4-8406-3638-4(2006.8)

第5巻 伝記・研究篇 ISBN978-4-8406-9665-4(2013.4)

第6巻 解題・索引篇 ISBN978-4-8406-9666-1(2017.4)

\*第1・2・4巻は上製版品切れ、オンデマンド版となります。

【編集委員】

石川真弘・井上敏幸・牛見正和・奥野純一・尾崎千佳・加藤定彦・塩崎俊彦・島津忠夫・宮脇真彦・米谷巖

軽妙洒脱な俳風で近世文学の扉を開いた文人の全貌を明らかに! 宗因は大坂天満宮連歌所の宗匠として全国的に活躍する一方、俳諧では西鶴らを育て芭蕉に強い影響を与えた。豊かな詩性は「俳諧史上、第一等の詩人」(中村幸彦)とも評された。新資料を博搜精査し、全文業を悉皆網羅、詳細な年譜・研究史・資料解題・索引を所収。

俳諧文庫・八代市立博物館未来の森ミュージアム・日本書道美術館編

**宗因から芭蕉へ 西山宗因生誕  
四百年記念**

そういんからばしょうへ

俳諧を庶民に広めた宗因の生誕400年を記念して開催された展覧会の図録。天性の詩人といわれた宗因の文業と、その影響を多大に受けた芭蕉へとつながる当時の文芸界の様相を、多数の新出資料・初公開資料等で紹介。(2005.10)

ISBN4-8406-9667-5

A4判 80頁 本体2,000円



## 文化史

高田宗平編

## 日本漢籍受容史—日本文化の基層—

にほんかんせきじゅうし にほんぶんかのきそう

ISBN978-4-8406-2260-8

A5判 698頁 本体9,000円



前近代の日本を理解するために、漢籍を知る！ 清朝以前に中国人が漢文（漢語）で撰じた書物＝漢籍。あらゆる知識・情報の根源となった漢籍は、どのように受容され、日本文化に根付いたのか。漢籍に関わる様々な分野の研究者が最新論考を寄稿し、前近代の漢籍受容の歴史を学際的・通時代的に解明した、初の学術書。（2022.11）

水上雅晴編／編集協力 高田宗平

## 年号と東アジア—改元の思想と文化—

ねんごうとひがしあじあ かいげんのしそうとぶんか

ISBN978-4-8406-2227-1

A5判 792頁 本体12,000円



時の命名こそ支配一年号は単に時を表すだけではなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多彩に読解。（2019.4）

遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編

## 日本書紀の誕生—編纂と受容の歴史—

にほんしょきのたんじょう へんざんとじゅうのれきし

ISBN978-4-8406-2225-7

A5判 536頁 本体4,800円



日本最初の「正史」はどのように編纂され、読み継がれたのか。最新の研究成果をふまえ、多彩な分野の研究者21名が日本書紀を読む前に知らなくてはならない事項を書き下ろした、待望の日本書紀研究入門。主要写本のカラー口絵・文献目録・関連史料集・写本一覽など付録満載。（2018.4）

中根勝著

## 〔OD版〕日本印刷技術史

にほんいんさつぎじゅつし

ISBN978-4-8406-3604-9

B5判 280頁 本体12,000円



中国・韓国の印刷起源から筆を起し、奈良朝の百万塔陀羅尼、平安朝の摺経と春日版、鎌倉・南北朝の開版事業と五山版、古活字版、近世の整版と木活字版、浮世絵版画と腐食銅版画、幕末の洋式活版術の再来、明治以降の印刷術の発達から大戦後の印刷事情まで、豊富な図版で日本の印刷史を集大成。（2015.11）

宍倉佐敏編著

## 必携 古典籍古文書料紙事典

ひっけい こてんせきこもんじょりょうしじてん

ISBN978-4-8406-2072-7

A5判 472頁 本体10,000円



製法から調査法まで料紙調査のプロの技を伝授！ 古代から近世まで、古典籍・古文書・経典・紙幣等、あらゆる料紙について具体的な調査方法と成果を紹介。簞目測定帳、繊維判定用和紙見本帳など別冊で付録。歴史学・国文学・書誌学・保存科学・書道史・仏教史等の専門家19名がコラムを寄稿。図版多数。（2011.7）

山本信吉著

## 古典籍が語る 書物の文化史

こてんせきがかたる しょもつのぶんかし

ISBN4-8406-0044-9

A5判 304頁 本体3,600円



国宝・重要文化財などの文化財指定に長年従事した古典籍調査の達人が本の見方を伝える。「なぜ古典籍は今日まで残ったのか？」「本の姿一装幀の違いにはどのような意味がこめられているか？」等々、古典籍に関わる諸事項を独自の切り口で語り尽くす。「奥書」について40頁にわたり詳述。（2004.11）

★『日本漢籍受容史』編者の高田宗平氏が第4回「岩瀬弥助記念書物文化賞」を受賞！

★ 編者の書き下ろしコラム2編がウェブでご覧いただけます。



コラム1) 漢籍の伝来

(書評サイト「ALLREVIEWS」掲載)



コラム2) 前近代の日本を理解するために、漢籍を知る

(「日本の古本屋」ウェブサイト掲載)

連歌と俳諧に生きた激動の詩人の虚実に迫る！

# 西山宗因の研究

尾崎千佳 著 A5判・上製・カバー装・704頁  
定価 13,200円（本体 12,000円＋税） ISBN 978-4-8406-9773-6

- ★『西山宗因全集』の編集委員として資料を博搜精査した著者が、その成果を集大成！
- ★2段組 390頁におよぶ年譜考証には、従来の研究史を刷新する新知見を豊富に盛り込み、幅広い社会的・地域的階層との交流の様相を精緻に描き出す
- ★近世前期の武家社会における牢人の実証研究として日本史・文化史にも寄与



【2024年3月刊】



【2023年12月刊】



東部ユーラシアにおける〈交通〉のなかで  
日本の古代国家はいかに形成されたのか

# 古代日本の国家形成と 東部ユーラシア〈交通〉

中野高行 著 A5判・上製・カバー装・392頁  
定価 9,900円（本体 9,000円＋税） ISBN 978-4-8406-2269-1

継体天皇即位、白村江の戦い、高麗郡建郡、遣唐使派遣、渤海との外交等の事例を〈交通〉の視点から再検証、日本古代国家の形成史を描く。諸国とのネットワーク形成と国家成立の関係を解明！

江戸時代の借金は「口約束」からはじまった

# 江戸の借金 —借りてから返すまで—

荒木仁朗 著 A5判・上製・カバー装・354頁  
定価 8,800円（本体 8,000円＋税） ISBN 978-4-8406-2264-6

大量に残された証文を読み解き、江戸時代のリアルな借金事情を明らかに。近世古文書学などの文献史学はもちろん、アーカイブズ学、経済史、農業史、法制史にも寄与。



【2023年5月刊】

★重版出来！



速報

3期リリース決定！

JKBooks

専門研究やレファレンスに最適な  
一大史料集成データベース

Web版 しりょうさんしゅう



# 史料纂集

第3期 古記録編 室町・戦国④～⑦

2025年1月 配信予定

古記録・古文書などの重要史料を文字起こし（翻刻）し、  
学界最高水準のテキストを提供する『史料纂集』。  
日本研究に必須の一大叢書が待望のデータベース化！

1 書籍の紙面画像とフルテキストデータを表示  
最新版の紙面画像と本文のフルテキストデータを並べて表示。  
テキストは検索・コピーが可能。検索語はハイライトで表示。

2 新字での検索、他コンテンツとの横断検索  
テキストは新字に統一しコピー・引用時の便宜を図った。  
「群書類従」「国史大系」「鎌倉遺文」など JKBooks\* との連携が可能。  
\*別途契約（ご購入）が必要です

3 全文検索、書名検索、年月日の絞込み検索  
語句の全文検索、書名検索が可能。  
日記に年月日のデータを付し、年月日での絞込み検索を実現。

## 収録書目

### 室町・戦国④

三箇院家抄 1・2、北野社家日記 1~8、  
親長卿記 1~3、長興宿禰記、  
政覚大僧正記 1・2

### 室町・戦国⑤

鹿苑日録 1~7、守光公記 1・2、  
言継卿記 1~6、長楽寺永禄日記

### 室町・戦国⑥

兼見卿記 1~7、三藐院記、  
義演准后日記 1~4、中臣祐範記 1~3

### 室町・戦国⑦

舜旧記 1~8、慶長日件録 1・2、  
源敬様御代御記録 1~4、  
鹿苑院公文帳

※ Web版史料纂集は図書館・法人向けのサービスです。

▼ Web版 史料纂集 無料トライアル（1期・2期）のお申し込み ▼

<https://catalogue.books-yagi.co.jp/files/pub/pdf/Yagimuryotrial.pdf>

上記 URL より申込書をダウンロードしてお申し込みください。

※ 3期のトライアルは2025年1月以降に受付予定です。



# Web版 史料募集 収録書目・価格

《2023年  
1月配信》

## 第1期 古記録編 平安・鎌倉・南北朝

特別価格販売期間 2025/3/31迄

- ・フルセット（平安・鎌倉・南北朝） **特別価格 本体 900,000円** +税  
通常価格 本体 1,000,000円 +税
- ・分売1（平安・鎌倉） 吏部王記、権記、台記、明月記、葉黄記、勘仲記、公衡公記、花園天皇宸記
- ・分売2（南北朝） 園太暦、師守記、迎陽記、兼宣公記

**特別価格 本体各 450,000円** +税  
通常価格 本体各 500,000円 +税

《2024年  
1月配信》

## 第2期 古記録編 室町・戦国①～③

特別価格販売期間 2026/3/31迄

- ・フルセット（室町・戦国①～③） **特別価格 本体 1,350,000円** +税  
通常価格 本体 1,500,000円 +税
- ・分売3（室町・戦国①） 教言卿記、教興卿記、山科家礼記、経覚私要鈔
- ・分売4（室町・戦国②） 実隆公記
- ・分売5（室町・戦国③） 松陰私語、師郷記、氏経卿神事記、言国卿記、十輪院内府記、元長卿記

**特別価格 本体各 450,000円** +税  
通常価格 本体各 500,000円 +税

《2025年  
配信予定》

## 第3期 古記録編 室町・戦国④～⑦

特別価格販売期間 2027/3/31迄

- ・フルセット（室町・戦国④～⑦） **特別価格 本体 1,800,000円** +税  
通常価格 本体 2,000,000円 +税
- ・分売6（室町・戦国④） 三箇院家抄、北野社家日記、親長卿記、長興宿禰記、政覚大僧正記
- ・分売7（室町・戦国⑤） 鹿苑日録、守光公記、言継卿記、長楽寺永禄日記
- ・分売8（室町・戦国⑥） 兼見卿記、三藐院記、義演准后日記、中臣祐範記
- ・分売9（室町・戦国⑦） 舜旧記、慶長日件録、源敬様御代御記録、鹿苑院公文帳

**特別価格 本体各 450,000円** +税  
通常価格 本体各 500,000円 +税

※本サービスは、JKBooksとしてお申し込みが必要となります（ジャパンレッジ Libには含まれておりません）。

※ご購入時に①「Web版史料募集」単独利用、②ジャパンレッジ Libとの統合、のいずれかをご選択ください。①の場合、年間システム利用料が別途かかります。②の場合、年間システム利用料はかかりません。同時アクセス数はジャパンレッジ Libに準じます。

※ジャパンレッジ Libの会員でないお客様は、登録及び初期設定費用として入会費が別途かかります。詳細はお問い合わせください。



X (旧 Twitter)  
@ShiryoSanshu

史料募集シリーズの  
小ネタを日々発信中！



### お役立ちコンテンツ

2023年11月10日に図書館総合展で開催された  
トークイベントの動画やコラムなど、  
「Web版史料募集」の活用に役立つ情報が満載！  
<https://company.books-yagi.co.jp/archives/news/9232>



全 133 冊 3,750 書目、日本研究に必携の一大叢書を  
新字でフルテキスト検索！ 書籍紙面を画像表示！

ジャパンナレッジ

JKBooks

Web 版

# 群書類従

正・続・続々  
全 133 冊  
3,750 書目

古代から近世末期まで、歴史・文学・宗教・言語・風俗・美術・音楽・遊芸・教育・道徳・法律・政治・経済・社会、その他各分野にわたる書目を分類収録した一大叢書の全文横断検索を実現！

配信中！ <http://japanknowledge.com/library/>  
セット 1,500,000 円 (税別、分売セットあり)



## 群書類従

全 30 冊・収録書目 1,276 点 400,000 円 (税別)

## 続群書類従

全 86 冊・収録書目 2,128 点 800,000 円 (税別)

## 続々群書類従

全 17 冊・収録書目 350 点 300,000 円 (税別)



- 多分野にわたる多彩な収録書目
- 簡単な使い方・見やすい検索結果
- ジャパンナレッジ Lib 収録コンテンツとの連携
- 全文検索による新発見  
— 分類 (部立て) を超えた検索 —



お問い合わせ  
八木書店

〒 101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8  
Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300  
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

配信・運営 NetAdvance  
小学館グループ  
株式会社ネットアドバンス



古書・図書館の蔵書調査に必携の辞典！  
稀代の目利きが販売した書物流転の記録をデジタルアーカイブ化

# 弘文荘待買古書目録

「古書目録はこう使えますよっ」by 反町茂雄 (弘文荘)

- ① 概要を調べる【書誌学辞典】
- ② 原典を見る【写真資料】
- ③ 伝来・相場を調べる【旧蔵者・販売価格】

古書目録 1万頁に、2万タイトルを収録。  
古代から近代まで、多彩な書目に検索データを付したオンライン版



配信中！ <http://japanknowledge.com/library/>

〔新規契約〕 350,000 円 (税別)

〔CD版・DVD版 購入者優待価格〕 140,000 円 (税別)

お問い合わせ

## 八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300

pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

配信・運営 NetAdvance

小学館グループ  
株式会社ネットアドバンス



正統群書類従に収められた約3,500点の書目を解説

【電子版】

# 群書解題 全13巻

【同時アクセス1】214,500円(税別)

\*分売可

正統群書類従に収められた約3,500点の書目を、学界第一線の諸家230名の総力を結集し、平易でしかも学問的にも高い水準で解説するもの。それぞれ一点ごとに、書名・作者・成立・内容・本文・諸本・参考文献の七つの項目を設けて詳述し、これによって文献の異称、書名の由来、諸写本、類似の文献の所在、研究経過、参考とすべき論文等、あらゆる角度から立体的にその把握が可能となる。



徳川氏が編纂させた武家系譜、1,400余家を収録

【電子版】

# 寛永諸家系図伝 全17巻

【同時アクセス1】252,450円(税別)

\*分売可

齋木一馬・林亮勝・橋本政宣 校訂

徳川氏が、大規模な武家系譜の編纂を企て、諸大名および旗本諸士に、それぞれ家伝の系譜の呈出を令すると共に、奏者番太田資宗を総裁に任じ、林羅山を主任者として、その編纂させたもの。清和源氏・平氏・藤原氏・諸氏より成り、巻末に医者・同朋・茶道を加え、全186巻、約1,400余家を収録。

※本商品は目次からの検索のみになります。



近世初頭、黒衣の宰相と称された金地院崇伝の文書案集

【電子版】

# 新訂本光国師日記 全7巻

【同時アクセス1】138,600円(税別)

\*分売可

副島種経 校訂

金地院崇伝は、家康・秀忠・家光三代の將軍の寵遇をあつくし、天下の国政に参与し、幕府譜代の老臣と等しくその事を議し、さらに外交の機密に深く携わり、また朝廷との交渉においても枢機に参画して幕府の威信を高めることに偉大な役割を果たした人物であり、その多角的な活動が本日記によって詳細に知られる。

※本商品は目次からの検索のみになります。



## Maruzen eBook Library

Maruzen eBook Library は丸善雄松堂が開発・運営する機関向け電子書籍提供サービスです。詳細は丸善雄松堂のウェブサイトをご参照ください。



\*詳細はこちら→

\*順次タイトル追加中!



## Kinoden-Kinoden Digital Library

Kinoden は紀伊國屋書店が開発・運営する機関向け電子書籍提供サービスです。詳細は紀伊國屋書店のウェブサイトをご参照ください。



\*詳細はこちら→

\*順次タイトル追加中!



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 【Tel】03-3291-2961 【Fax】03-3291-6300  
【E-mail】pub@books-yagi.co.jp 【Web】https://catalogue.books-yagi.co.jp/ ※表示価格は税別

中世に残された古代律令制の実像とは？

# 中世天皇家の作法と律令制の残像

【同時アクセス1】15,400円（税別）

久水俊和 著

朝廷と室町幕府のあらたな関係を提示。天皇家の公事作法や神事・学芸に注目し、皇統確立の過程を明らかに。律令国家以来の太政官制が中世に機能していたことを論証。平安京大内裏跡の具体的な復原も試みる。

【電子版】



【電子版】



原典初版刊行 450 年記念、初の全釈！

# 天草版 ラテン文典 卷一全釈

【同時アクセス1】10,780円（税別）

カルロス・アスンサン／黒川茉莉／豊島正之 編

アルバレス原著「ラテン文典」（1572年初版）。イエズス会の標準文法書となって、版を重ねた名著で、10年後のロドリゲス「日本大文典」（1604）にも、名指しで引用される。原典アルバレス「ラテン文典」の、大文典・小文典の二系列の諸本の精査に基づく、綿密な注釈。

【電子版】



地域を支配した国造をてがかりに、ヤマト王権の成立を解明する

# 日本古代の国造と地域支配

【同時アクセス1】16,500円（税別）

鈴木正信 著

古墳時代から飛鳥時代にかけて地域を支配した国造をてがかりに、ヤマト王権の成立を解明する。国宝『海部氏系図』の研究・翻刻を付すなど、系譜研究にも寄与。国造が各地域をどのように支配したのかという問題に焦点を当てて、国造制に関する最新の研究成果をまとめる。ヤマト王権と豪族の実像を知る基本文献。

## Maruzen eBook Library

Maruzen eBook Library は丸善雄松堂が開発・運営する機関向け電子書籍提供サービスです。詳細は丸善雄松堂のウェブサイトをご参照ください。



\* 詳細はこちら→

\* 順次タイトル追加中！



## Kinoden-Kinoden Digital Library

Kinoden は紀伊國屋書店が開発・運営する機関向け電子書籍提供サービスです。詳細は紀伊國屋書店のウェブサイトをご参照ください。



\* 詳細はこちら→

\* 順次タイトル追加中！



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 【Tel】 03-3291-2961 【Fax】 03-3291-6300  
【E-mail】 pub@books-yagi.co.jp 【Web】 https://catalogue.books-yagi.co.jp/ ※表示価格は税別

# 中古文学会ご注文書

FAX 03-3291-6300

①メールでも承ります→ [pub@books-yagi.co.jp](mailto:pub@books-yagi.co.jp)

送信日 年 月 日

②カタログ掲載品以外も学会割引（10%引）にて承ります。弊社ウェブサイトもあわせてご覧くださいませ。

<https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

ご注文者様情報	氏名			
	住所	〒 -		
	電話番号		FAX	
	費用	私費 / 公費	メールアドレス	

公費購入の方	必要書類	見積書 通	納品書 通	請求書 通	日付	いれる / いれない
	書類宛名					
	送料を商品代に含める	はい / いいえ		機関指定書式あり	はい / いいえ	
	通信欄					

※消費税の表記は税込みです ※領収書はご入金確認後の発行です ※所定書式ありの方は小社総合営業部宛にご郵送ください

書名	定価 (本体+税10%)	学会特別価格 (税込)	冊数
萬葉集正義 全10冊 ※2024年8月以降6ヶ月毎配本/定期購読	予価¥99,000	予価¥89,100	
萬葉集正義 第一【2024/8発売予定】 ご予約承り中!	¥8,800	¥7,920	
尊経閣善本影印集成 第11輯 絵巻 (全4冊) ※下記4点定期購読	予価¥135,300	予価¥121,770	
尊経閣善本影印集成89 荏柄天神縁起【2024/12発売】	予価¥35,200	予価¥31,680	
尊経閣善本影印集成90 一遍聖絵 1【2025/3発売】	予価¥36,300	予価¥32,670	
尊経閣善本影印集成91 一遍聖絵 2【2025/6発売】	予価¥33,000	予価¥29,700	
尊経閣善本影印集成92 豊明絵草紙・祭礼草紙【2025/9発売】	予価¥30,800	予価¥27,720	
新天理図書館善本叢書 第3期 源氏物語 池田本 全10巻	¥378,400	¥340,560	
尾州家河内本 源氏物語 全10巻	¥308,000	¥277,200	
定家本 源氏物語 行幸・早蕨【2018/1発売】	¥30,800	¥27,720	
幽斎源氏物語聞書【2006/8発売】	¥16,500	¥14,850	
史料纂集古記録編209 花月日記 1	¥17,600	¥15,840	
史料纂集古記録編212 花月日記 2	¥18,700	¥16,830	
史料纂集古記録編214 花月日記 3	¥17,600	¥15,840	
史料纂集古記録編216 花月日記 4	¥18,700	¥16,830	
史料纂集古記録編220 花月日記 5【2024/6発売】	予価¥18,700	予価¥16,830	
室町幕府將軍直臣と格式【2024/2発売】	¥11,000	¥9,900	
明治大学図書館所蔵 三条西家本 除目書【2021/5発売】	¥16,500	¥14,850	
古代日本の国家形成と東部ユーラシア〈交通〉【2023/12】	¥9,900	¥8,910	
日本古代の国造と地域支配【2023/8発売】	¥11,000	¥9,900	
古代の交通と神々の景観【2023/5発売】	¥9,350	¥8,415	
出雲国風土記一校訂・注釈編一【2023/3発売】	¥5,500	¥4,950	
日本古代王権と貴族社会【2023/1発売】	¥9,900	¥8,910	
日本漢籍受容史【2022/11発売】 好評2刷!	¥9,900	¥8,910	
古代日本対外交流史事典【2021/11発売】	¥6,600	¥5,940	
馬と古代社会【2021/11発売】 好評2刷!	¥8,800	¥7,920	
史料纂集古記録編215 參天台五臺山記 1【2023/4発売】	¥17,600	¥15,840	
史料纂集古記録編217 參天台五臺山記 2【2023/6発売】	¥15,400	¥13,860	